

## 目 次

---

はじめに	1
1. 教育理念	3
2. 教育方針	3
3. 行動指針	3
4. 学年別目標（理想の子ども像）	4
5. 学期別目標	5
6. 各学年における月別目標とねらい及び主な活動	6
7. 教育内容別目的	10
8. 保護者への働きかけについて	35
9. 幼稚園教育要領の5領域との関連	38
10. 発達段階に合わせた到達目標 確認シートについて	40
11. 小学校へのつながりについて	46
12. 保育終了後の保育について	55
13. 子育て支援について	55
14. 園の概要について	56



## はじめに

本園は昭和26年の創立以来、教育基本法を十分に尊重すると共に、園児一人ひとりが各自の人間性や能力を全面的に開花させていく保育を目指し、実践を重ねています。年譜を紐解けば、昭和33年（1958）11月に「家庭につながる保育」と題して保育計画・保育カリキュラムが研究集録としてまとめられ、以降、昭和43年（1968）に「教育課程」。昭和53年（1978）「教育課程の改訂—生活・自然・絵画—」。昭和56年（1981）「教育課程の改訂—体育あそび—」。昭和61年（1986）「教育課程の改訂—生活と遊び・描く・作る—」。平成3年（1991）「教育課程—改訂—」。平成15年（2003）「関西大学幼稚園の保育」に本園の教育のすべてがまとめられています。

平成19年に約60年振りに教育基本法が改正され、それを踏まえ平成20年3月には幼児期の教育が、新たに①「生きる力の基礎を育成すること」②「豊かな心と健やかな体を育成すること」を基本的なねらいとした幼稚園教育要領に改正されました。この幼稚園教育要領の精神は、本園が創立当初より貫いてきた姿勢であり、教育の本質であります。そのことを第一に考え、心身の発達はもとより様々な環境や境遇に育った子どもたち一人ひとりが、集団生活に適応できるように配慮しながら、自らの力を発揮し、のびのびと生活できるよう、子どもの育ちに着目した具体的課題を見逃さず取り組む努力を重ねてきました。しかしながら一方では、平成16年に「幼保一体化」という政府案が出され、平成18年10月から就学前の教育・保育ニーズに対応する新たな選択肢として「認定こども園制度」が設けられました。更に平成27年4月より、幼稚園と保育園の機能を合体させることによって就労しやすい環境作りを狙った「子ども・子育て支援新制度」が開始され、幼児教育の根幹が大きく揺さぶられる時代を迎えています。このような状況を踏まえた上で、これまで保育について考え実践してきたことをまとめ、今後どうあるべきか総点検したものを「教育課程」として作成しました。

幼児虐待、子どもの自殺等という命を軽んじた痛ましい出来事が後を絶たず、価値観の多様化がモラルの低下を生み、自分本位な言動によって人間関係が希薄になっている時代、また、教育産業が栄え情報に溢れる時代であります。このような時代であるからこそ、本来あるべき幼児教育の本質を見失わずにいたいと考えます。「身体や心で豊かに感じ、必要なことを知り、言葉や身体で表現し、認め合い、仲間と共に生きること」を体験することが重要であると考え実践してきたこれまでの保育と、時代に応じ変えられるところは変化させ、守るべきことは貫くこれからの保育を考え続けるための材料にしたいと考えています。

子どもの育ちというものは、右肩上がりに変化するものではなく、螺旋階段を登るようなものです。同じことの繰り返しのようには見えますが、一日一日、一月一月、変化成長しているものであります。よって本園の教育は、イベント性の強い行事や目の前の結果や成果に着目するような活動に目標を設定し、それに向けての到達度を図ることに重きを置くものではありません。それよりも、常に変化成長し続ける個々の育ちぶりをいかに日々の保育の中で見逃さず、本園の目指す理想の子ども像「自分で考えて行動できる子」に向けて一つ一つの場面で深く関わり、その子らしい人間性と能力の開花に

重点を置くものなのです。「教育課程」を作成するにあたっては、このような本園の特徴的な教育のあり方が実践できるようにまとめています。教育活動における具体的な内容をねらいと共に、学期或は月毎にまとめることで、「理想の育ち（成長発達）」（目標）の可視化に努めました。1学期の4月、4学期の4月、7学期の4月に同じような普段の活動があってもそのねらいは、目標に向けて子どもの成長段階に合わせた働きかけを表記しています。

また、人格形成の大事な時期である幼児期においては、情緒の安定が何より重要なことでもあります。そのため、保護者への働きかけは不可欠であり、母親の心配や不安を取り除くことに努めています。更に数年前から表面化している“小1プロブレム”については、小学校における学習と幼稚園生活における遊びの関連性を重視しながら、小学校へのスムーズな移行についても十分考慮しています。具体的な読み書きや計算を学習する前段階として、幼児期においては、やる気・意欲・集中力・自ら行動する力・疑問を持つ・想像力の育成が必要であり、そのことが学習に対する基盤を培うものになると考えています。

「教育課程」をまとめる作業に取り組む中で、関西大学との一貫教育を図って創設された本園の使命が実践できていることを確信しました。そのことは、各併設校の理念と合致している点からもわかり、人としての基盤を作る時期、それが幼児期における教育の本質であると思われま

す。整理が不十分で完成度の低い冊子ではありますが、立ち止まり見直す作業は私たちにとって大きな収穫となりました。これを踏み台に、更に前進したいと考えています。

ご指導賜りますようお願い申し上げます。

## 1. 教育理念

---

すべての園児が各自の人間性や能力を全面的に開花させ、自分で考えて行動できる子どもに育てる。

## 2. 教育方針

---

様々な環境や境遇に育った子どもたちが、集団生活に適應できるように配慮しながら、

- (1) 自主性の陶冶「いきいきと自己表現ができ、積極的に経験を発展させることのできる子どもにすること」
- (2) 協同性の涵養「みんなで協同して仕事をしたり、遊んだりすることのできる子どもにすること」
- (3) 生きる力の育成「困難に出会った時、前向きに解決していける豊かな感性と生活の知恵を持つ子どもにすること」

を保育の基本的な方針にしている。

そして、現代の教育学や心理学及びその他の諸科学の進歩に即しながら、子どもたちの感覚を豊かにすることに重点をおきつつ認識、情操、能力や健全な心と身体の発達を図るための保育を進めている。

## 3. 行動指針

---

- ① 日常の保育を通して一人ひとりの子どもの個性や発達状況をよく知る。
- ② 子どもの気持ちをよく聴く。
- ③ 子どもが理解できる言葉で周りの様子を伝え、気づかせる。
- ④ 子どもの成長、発達を促し、方向づける。
- ⑤ 一人ひとりの違いを分かった上で、子どもがクラス集団の中で自分らしさを発揮し、互いに育ち合えるように関わる。
- ⑥ クラス集団の成熟度や自主性に合わせて関わり方を変える。

## 4. 学年別目標（理想の子ども像）

年少児：園生活における基本的な生活習慣を身につける。 園生活を楽しみのびのびと自己表現ができる。	年中児：友だちと関わる中で、気持ちを伝え合い、主体的に遊ぶ。 クラスの一員として仲間意識が育つ。	年長児：自信をもって主体的に園生活を送り、自分で考えて行動する。
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 担任との信頼関係を築き、友だちに親しみをもって関わるができるようになる。</li> <li>• 園生活の中であいさつ・手洗い・うがい・自分の持ち物の出し入れ・遊具の片づけ・歯磨き・トイレ等の基本的な生活習慣を自分でできるように身につけていく。</li> <li>• 朝の集まり等を通して、自分の体験や気持ちを話したり、担任の話を椅子に座って聞けるようになり、自己主張だけでなく友だちの話にも耳を傾けられるようになる。</li> <li>• 友だちとの関わりにおいては、一緒に遊びを楽しみ、「貸して。」「いれて。」等、自分の気持ちを言葉で伝えることができるようになり、我慢や譲り合うこと、順番を待つこと等、集団生活での約束を知り守ろうとするようになる。</li> <li>• 食事に関しては、いろいろな食べ物に興味を持ち、お箸を使って自分で食べることができるようになっていき、苦手なものも食べようとする気持ちになる。</li> <li>• これまでの園生活での経験を積み重ねて、クラスの一員としての自覚を持ち、年中児になることを楽しみに進級する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 体操服への着替えや身支度を積み重ねることにより園生活における基本的な生活習慣を身につけていく。</li> <li>• 遊びにおいては、自分の好きな遊びを見つけ、友だちと一緒に遊ぶことが楽しいと感じられる経験を積み重ねていく。又、友だちとイメージを共有して遊べるようになり、工夫したり話し合いながら遊ぶことで遊びが長く続くようになる。その中で自分の思いや考えを言葉で友だちに伝えることができるようになり、友だちにも思いがあることを知り、次第に自分の気持ちをコントロールしようとする姿が見られるようになる。</li> <li>• 友だちと一緒に協力して取り組む経験を積み重ねていくことで、クラスの仲間意識が育ち、積極的に関わって遊ぶ姿が見られるようになる。</li> <li>• 混合保育（室内遊び・リズム運動）等年長児との関わりの中で、年長児への憧れの気持ちを膨らませ、期待と喜びを胸に進級する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 年少・年中時での園生活における経験や友だち関係をもとに、憧れの年長児ならではの活動に意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。また、動植物に親しみ、世話をすることに責任を持って取り組み、楽しみにできるようになる。</li> <li>• 通園やリズム運動、混合保育、おやつの日等において、年少・年中児と関わりを持つことにより年長児の自覚が芽生え、経験を積み重ねることでそれらがより確かなものになっていく。</li> <li>• クラス集団においては、友だちと一緒に目的を持って一つのことに取り組み、やり遂げることで充実感を共有していく。その経験の中で友だちと意見を交わし、相手の気持ちに耳を傾けながら自分の気持ちをコントロールする力を身につけ、話し合っ物事を進めていけるようになる。</li> <li>• 集団遊びでは、友だちを誘いルールを守って遊びが展開し長時間楽しめるようになる。</li> <li>• 何事もあきらめずに取り組む姿勢を持ち、確かな信頼関係で結ばれたクラス集団の中で育まれた子どもの姿は自信に満ちたものとなる。</li> <li>• このように主体的に園生活を送ることによって自分で考え行動する力を身につけ卒園を迎える。</li> </ul>

## 5. 学期別目標

---

### 1 学期

集団生活を知り、教員や友だちと一緒に過ごす楽しさや喜びを味わう。

### 2 学期

様々な活動を通し、友だちとの関わりを楽しむ。

### 3 学期

友だちと関わる中で、教員や友だちに気持ちを伝える。

### 4 学期

新しいクラスに慣れ、積極的に友だちと関わって遊ぶ。

### 5 学期

クラスの友だちと協力して取り組む活動を通し、仲間意識を育てる。

### 6 学期

自分らしさを発揮し、友だちと協調して遊びや活動に取り組む。

### 7 学期

遊びや年長児としての活動に意欲的に取り組み、責任を持ってやり遂げる。

### 8 学期

共通の遊びや活動を協力してやり遂げることで達成感を味わい、仲間意識を深める。

### 9 学期

主体的に園生活を送り、自分で考えて行動する。

## 6. 各学年における月別目標とねらい及び主な活動

### 【月別目標】

#### 年 少

4月	教員や友だちと一緒に過ごすことが楽しいと感じさせる。	9月	遊びを通して友だちと関わりが持てるようにする。	1月	基本的な生活習慣が自分のできるようにする。
5月	集団生活を知らせる。	10月	戸外で友だちと体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるようにする。	2月	気の合う友だちと一緒に遊びを楽しめるようにする。
6月	集団生活には決まりがあることを知らせる。	11月	友だちと遊ぶ楽しさを味わえるようにする。	3月	進級を楽しみにできるようにする。
7月	暑い時の過ごし方を知らせ、水に親しめるようにする。	12月	自分の気持ちを教員や友だちに伝えられるようにする。		

#### 年 中

4月	新しいクラスに慣れ、担任や友だちに親しみを持てるようにする。	9月	遊びを通して友だちとの関わりを深める。	1月	友だちと一緒に工夫して、自分たちで考え、意欲的に遊べるようにする。
5月	自分のやりたい遊びを見つけ、気の合う友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにする。	10月	運動遊びや集団遊びを楽しむ、仲間意識を育てられるようにする。	2月	友だちと協調して遊びや活動ができるようにする。
6月	自分の思いを言葉で伝えられるようにする。	11月	友だちの気持ちに気づけるようにする。	3月	年長組になることへの期待や喜びが持てるようにする。
7月	水に親しみ、夏の季節を楽しむようにする。	12月	友だちと共通のイメージを持ち、協力して遊びを楽しめるようにする。		

#### 年 長

4月	様々な活動を通して年長児になった実感が持てるようにする。	9月	自分の力で最後まで取り組み、達成感と満足感を感じさせる。	1月	ルールを守り、集団遊びを主体的に楽しめるようにする。
5月	クラスで気持ちを共有して一つのことに取り組み、達成感を味わわせる。	10月	戸外で運動遊びや集団遊びを楽しむ、仲間意識を深める。	2月	様々な活動に積極的に取り組み、やり遂げる達成感を味わわせる。
6月	クラスで自分の思いや経験を言葉で伝えられるようにする。	11月	様々な活動を協力してやり遂げ、充実感を味わわせる。	3月	自信を持って主体的に園生活を楽しみ、小学校への夢が膨らむようにする。
7月	のびのびと水遊びを楽しみ、夏の季節を楽しむようにする。	12月	友だちと話し合い、協力して遊びを楽しめるようにする。		



## 【ねらい及び主な活動】

### 年 少

<b>4月 目標：教員や友だちと一緒に過ごすことが楽しいと感じさせる。</b>		<b>10月 目標：戸外で友だちと体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるようにする。</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の持ち物の置き場所を知らせ、朝・帰りの用意を自らしようと思えるようにする。</li> <li>手洗い・うがいの習慣が身につくようにする。</li> <li>担任の話に耳を傾けられるようにする。</li> <li>自分の好きな遊びを見つけ、遊べるようにする。</li> <li>遊んだ遊具の片付け方を知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身支度</li> <li>手洗い、うがい</li> <li>おやつ</li> <li>室内遊び</li> <li>片付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちの話に耳を傾けられるようにする。</li> <li>体育遊びや集団遊び等のルールを守って遊ぶ楽しめるようにする。</li> <li>遊具を譲り合ったり、順番を待つ等、小さな我慢ができるようにする。</li> <li>紅葉やどんぐり等、秋の自然を感じられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動月間</li> <li>運動会（かけっこ、表現遊び、親子競技等）</li> <li>体育遊び</li> <li>集団遊び</li> <li>園内散策</li> </ul>
<b>5月 目標：集団生活を知らせる。</b>		<b>11月 目標：友だちと遊ぶ楽しさを味わえるようにする。</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>園内の小動物や植物に興味をもてるようにする。</li> <li>普段の生活習慣が健康につながっていることを知らせる。</li> <li>給食・弁当を、みんなで一緒に食べることを楽しめるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内散策</li> <li>健康診断</li> <li>給食</li> <li>弁当</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちと一緒にやりたいことを見つけて遊べるようにする。</li> <li>戸外でみんなで分け合って食べる喜びを感じられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内遊び</li> <li>戸外遊び</li> <li>休日参観</li> <li>焼き芋</li> </ul>
<b>6月 目標：集団生活には決まりがあることを知らせる。</b>		<b>12月 目標：自分の気持ちを教員や友だちに伝えられるようにする。</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で着替えようと思えるようにする。</li> <li>水の気持ち良さを感じられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水遊び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の気持ちを言葉で伝えられるようにする。</li> <li>冬の寒さや太陽の温かさを感じられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おもちゃつき</li> <li>園内散策</li> </ul>
<b>7月 目標：暑い時の過ごし方を知らせ、水に親しめるようにする。</b>		<b>1月 目標：基本的な生活習慣が自分でできるようにする。</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>夏の暑さを感じられるようにする。</li> <li>汗をかいたらタオルでふくようにする。</li> <li>プール遊びを楽しめるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内散策</li> <li>戸外遊び</li> <li>プール遊び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で防寒着の着脱をできるようにする。</li> <li>日本の文化風習に興味をもてるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身支度</li> <li>室内遊び</li> <li>戸外遊び</li> </ul>
<b>9月 目標：遊びを通して友だちと関わりが持てるようにする。</b>		<b>2月 目標：気の合う友だちと一緒に遊びを楽しめるようにする。</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>嫌なことは嫌と相手に伝えられるようにする。</li> <li>友だちと一緒に同じ遊びをする楽しさを味わえるようにする。</li> <li>リズム運動や集団遊びを楽しめるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内遊び</li> <li>戸外遊び</li> <li>リズム運動</li> <li>集団遊び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共通のイメージで一緒に遊べるようにする。</li> <li>寒さの中でも、戸外で身体を動かして遊ぶ楽しさを感じられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内遊び</li> <li>戸外遊び</li> </ul>
		<b>3月 目標：進級を楽しみにできるようにする。</b>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのことが自分でできる喜びを味わい、自信をもてるようにする。</li> <li>春の訪れを感じ、進級を楽しみに過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内散策</li> <li>お別れ会に向けての取り組み</li> <li>卒園式に向けての取り組み</li> </ul>

年中

<p><b>4月 目標：新しいクラスに慣れ、担任や友だちに親しみを持てるようにする。</b></p>		<p><b>11月 目標：友だちの気持ちに気づけるようにする。</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>着替えや身支度等身の回りのことを自分でできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内遊び</li> <li>着替え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いを主張するだけでなく、友だちの声に耳を傾け、友だちの気持ちに気づけるようにする。</li> <li>友だちと一緒に考え、協力して遊びを楽しめるようにする。</li> <li>友だちと一緒に発表する楽しさを感じさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内遊び</li> <li>戸外遊び</li> <li>休日参観</li> <li>集団遊び</li> <li>焼き芋</li> </ul>
<p><b>5月 目標：自分のやりたい遊びを見つけ、気の合う友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにする。</b></p>		<p><b>12月 目標：友だちと共通のイメージを持ち、協力して遊びを楽しめるようにする。</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の好きな遊びを見つけられるようにする。</li> <li>友だちと関わって遊ぶことが楽しいと感じさせる。</li> <li>戸外で身体を動かして遊ぶことが気持ち良いと感じられるようにする。</li> <li>自分の健康に関心を持てるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内遊び</li> <li>戸外遊び</li> <li>集団遊び</li> <li>健康診断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちと共通のイメージを持って遊べるようにする。</li> <li>冬の寒さや太陽の暖かさを感じさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内遊び</li> <li>戸外遊び</li> <li>集団遊び</li> <li>おもちゃつき</li> </ul>
<p><b>6月 目標：自分の思いや経験を言葉で伝えられるようにする。</b></p>		<p><b>1月 目標：友だちと一緒に工夫して意欲的に遊べるようにする。</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な人に信頼を寄せ、友好的な関わりができるようにする。</li> <li>自分の思いを言葉で表現できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団遊び</li> <li>室内遊び</li> <li>リズム運動参観</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年長児の遊びを模倣することで遊びが広がり、友だちと一緒に工夫し遊びを楽しむことができるようにする。</li> <li>お正月遊びに興味を持ち、楽しむようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内遊び</li> <li>混合保育</li> <li>たこ制作</li> </ul>
<p><b>7月 目標：水に親しみ、夏の季節を楽しめるようにする。</b></p>		<p><b>2月 目標：友だちと協調して遊びや活動ができるようにする。</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>顔に水がかかっても抵抗なく、プール遊びを楽しめるようにする。</li> <li>プールでの約束事を守り、安全に気をつけて遊べるようにする。</li> <li>暑い時の過ごし方を知らせ、戸外遊びでは帽子をかぶり、日陰で遊ぶことを自分で気づいて行動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プール遊び</li> <li>戸外遊び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寒さに負けず戸外で身体を動かす心地よさを感じさせる。</li> <li>子ども同士でルールを守って集団遊びを楽しめるようにする。</li> <li>当番活動を引き継ぐことを通して進級することを知り、喜べるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内遊び</li> <li>戸外遊び</li> <li>集団遊び</li> <li>年長児から当番活動を引き継ぐ</li> </ul>
<p><b>9月 目標：遊びを通して友だちとの関わりを深める。</b></p>		<p><b>3月 目標：年長組になることへの期待や喜びが持てるようにする。</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の経験や体験を話し、友だちの話に興味を持って聞けるようにする。</li> <li>自分の気持ちや考えを友だちに言葉で伝えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内遊び</li> <li>戸外遊び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年長児を送る準備や新入園児を迎える準備を通し、年長組になることを楽しみにさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お別れ会に向けての取り組み</li> <li>卒園児へのペンダント作り</li> <li>卒園式に向けての取り組み</li> <li>新入園児へのペンダント制作</li> </ul>
<p><b>10月 目標：運動遊びや集団遊びを楽しみ、仲間意識を育てられるようにする。</b></p>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>体育遊びや集団遊びを通して、友だちと一緒に取り組むことが楽しいと感じさせる。</li> <li>ルールを守って遊ぶ楽しさを味わわせる。</li> <li>遊びを共有しながらクラスの仲間意識を感じられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動月間（かけっこ、玉入れ、大玉転がし等）</li> <li>集団遊び</li> <li>混合保育</li> </ul>		

## 年 長

<b>4月 目標：様々な活動を通して年長児になった実感が持てるようにする。</b>		<b>10月 目標：戸外で運動遊びや集団遊びを楽しみ、仲間意識を深める。</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>進級の喜びを感じられるようにする。</li> <li>年少児や年中児と関わることで年長児になったことを実感できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年少児へプレゼントを渡す</li> <li>年中児の着替えの手伝い</li> <li>チューリップの球根抜き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動月間として戸外での運動遊びに取り組み、持てる力を出し切ることを体験させる。</li> <li>友だちと力を合わせて競技に取り組むことができるようにする。</li> <li>クラスの枠を超えて子ども同士でルールを守って遊ぶことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動月間</li> <li>運動会（二人三脚・リレー・つなひき等）</li> <li>混合保育</li> <li>お芋ほり</li> </ul>
<b>5月 目標：クラスで気持ちを共有して一つのことに取り組み、達成感を味わわせる。</b>		<b>11月 目標：様々な活動を協力してやり遂げ、充実感を味わわせる。</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスで気持ちを共有し一つのことに取り組めるようにする。</li> <li>自分の健康に関心を持ち健康に必要な習慣や態度を身につける。</li> <li>動植物に親しみ、責任を持ってお世話をできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鯉のぼり作り</li> <li>当番活動（鯉のぼり当番・小鳥かも当番・給食の手伝い）</li> <li>サツマイモの苗植え・おやつ作り</li> <li>健康診断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちと一緒に発表する楽しさを味わうことができるようにする。</li> <li>感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しめるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>休日参観</li> <li>焼き芋</li> </ul>
<b>6月 目標：クラスで自分の思いを言葉で伝えられるようにする。</b>		<b>12月 目標：友だちと話し合い、協力して遊びを楽しめるようにする。</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>説明を理解して聞き取り、作り上げる喜びを感じられるようにする。</li> <li>友だちの歌を聴きながら輪唱の楽しさを味わわせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あじさい制作</li> <li>七夕制作</li> <li>輪唱</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寒さに負けず過ごせるようにする。</li> <li>生活の中でイメージを豊かにし工夫してごっこ遊びに取り組むことができるようにする。</li> <li>友だちと意見を交わし協力してごっこ遊びを楽しむことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドッジボール</li> <li>おもちゃつき</li> <li>お店屋さんごっこ</li> <li>年少・年中児を誘って遊ぶ</li> <li>保護者を招待する</li> </ul>
<b>7月 目標：のびのびと水遊びを楽しみ、夏の季節を楽しめるようにする。</b>		<b>1月 目標：ルールを守り、集団遊びを主体的に楽しめるようにする。</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>暑い時の過ごし方に関心を持ち、日常生活に生かせるようにする。</li> <li>水に親しみ、のびのびと水遊びを楽しむようにする。</li> <li>幼稚園で過ごす夏の夜のひと時を友だちと一緒に楽しめるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プール遊び</li> <li>夏の夜の集いに向けての取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の文化風習に親しめるようにする。</li> <li>友だちと意見を出し合い、相談して解決していけるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コマ回し</li> <li>かるた</li> <li>ドッジボール</li> </ul>
<b>9月 目標：自分の力で最後まで取り組み、達成感と満足感を感じさせる。</b>		<b>2月 目標：様々な活動に積極的に関わり、やり遂げる達成感を味わわせる。</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の力で最後まであきらめずに取り組み、やり遂げた喜びを味わえるようにする。</li> <li>クラスで気持ちを共有し、仕事の内容を理解して取り組めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>縄跳び作り</li> <li>おやつ作り（お月見団子を作り、年少・年中児を招待）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら積極的に物事にかかわり、やり遂げる喜びを味わえるようにする。</li> <li>人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わえるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マフラー作り</li> <li>年中児へ園全体にかかわる当番活動を引き継ぐ</li> </ul>
<b>3月 目標：自信を持って主体的に園生活を楽しみ、小学校への夢が膨らむようにする。</b>		<b>3月 目標：自信を持って主体的に園生活を楽しめるようにする。</b>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの経験の積み重ねから自信を持って主体的に園生活を楽しめるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リズム運動参観</li> <li>お別れ会に向けての取り組み</li> <li>卒園式に向けての取り組み</li> </ul>

## 7. 教育内容別目的

---

### ① 安全教育について

目的：危険を予測し、回避できる力を育てる。

重要なポイント

- 身を守るための具体的な方法を伝える。
- 訓練を繰り返し行うことで、災害時や緊急時における行動の仕方がわかるようにする。
- 訓練は毎回同じことの繰り返しではなく、内容の半分は新たなことを取り入れ、様々な事象に対応できるようにする。

〈表の見方〉

- 安全教育を保育時と通園時におけるものに分け、更に月ごとの一覧表にしている。保育時については学年別に身につけるべき子どもの姿を生活・災害時・交通ルールに分類している。通園時には徒歩地区と電車地区に分けている。
- 訓練は年に6回、不審者・地震・火災の場合を想定して行っている。

## 保育時における指導のポイント

### 年 少

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者と手をつないで歩く。(交通)</li> <li>車やバイクが通るので、門から飛び出さない。(交通)</li> <li>椅子の運び方を知り、気をつけて持つ。(生活)</li> <li>歯ブラシをくわえて歩かない。(生活)</li> <li>保育室は走らない。(生活)</li> </ul>	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震が起きた時の対応の仕方を知り、担任の指示に従って行動する。(避難訓練・地震) 〈保育室のどこが危ないか確認し合う・机の下に入る〉</li> <li>防災頭巾のかぶり方を知り、自分でかぶる。(避難訓練・地震)</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型積み木の使い方を知る。(生活)</li> <li>裏山への階段は友だちと手を離して1人で登り降りする。(生活)</li> <li>裏山での約束事を知る。(生活) 〈すべり台は座ってすべる・すべり台は下から登らない〉</li> <li>お箸の扱いに気をつける。(生活)</li> </ul>	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>走らず歩くことを意識する。(避難訓練・地震)</li> </ul>
		12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>担任の指示に従って、中高のグラウンドへ避難する。(避難訓練・地震)</li> <li>防寒着のファスナーを閉める。(生活)</li> <li>ポケットに手を入れない。(生活)</li> <li>風邪が流行る時期なので、手洗い・うがいをしっかりする。(生活)</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育室内にいた時に不審者が侵入した場合を想定して行い、警戒音が聞こえたら担任の顔を見る。(避難訓練・不審者)</li> <li>人数確認のため、担任に頭を触られたら座ることを知る。(避難訓練・不審者)</li> <li>プール遊びの約束事を知り、守って楽しむ。(生活)</li> </ul>	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>阪神大震災の話を通して、地震が起きた時の対応の仕方を改めて知る。(避難訓練・地震) 〈保育室のどこが危ないか確認し合う・机の下に入る・防災ずきんをかぶる〉</li> <li>降園時はすぐに立札に並ぶ。(生活)</li> </ul>
			2月
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育室以外にいた時に不審者が侵入した場合を想定して行い、警戒音(笛)が聞こえたら担任の顔を見て指示に従って動く。(避難訓練・不審者)</li> <li>暑い時の過ごし方を知る。(生活) 〈汗をかいたらタオルでふく・水分補給・帽子をかぶる・木陰で遊ぶ〉</li> </ul>	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災の話を通して、日頃から安全に気をつけることを子どもに考えさせるようにする。(避難訓練・地震) 〈赤白帽の上から防災ずきんをかぶる〉</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>火事が起きた時の対応の仕方を知り、担任の指示に従って行動する。(避難訓練・火災)</li> </ul>		

年中

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>通園時のルールの確認をする。(交通)</li> <li>手洗い場、トイレは並んで待つ。(生活)</li> <li>保育室・廊下は走らない。(生活)</li> <li>雨の日は廊下がすべるので気をつける。(生活)</li> <li>ケガをしたら先生に知らせる。(生活)</li> <li>椅子の扱い方に気をつける。(生活)</li> <li>ドアの出会いがしらに気をつける。(生活)</li> <li>なわとびの電車は安全運転に気をつける。(生活)</li> <li>先生の指示通りに動く。(避難訓練・地震)</li> <li>机の下に隠れ自分で頭巾をかぶる。(避難訓練・地震)</li> </ul>	9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>火事があったらどうしたら良いか話し合い、対応の仕方を知る。(避難訓練・火災)</li> </ul>
		10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>春の園外保育のことを思い出して交通ルールを守れるようにする。(交通) 〈散策では先々勝手に行かない〉</li> </ul>
		11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生の指示通りに歩く。(避難訓練・地震) 〈急ぎ足で歩く〉</li> </ul>
		12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>中高のグラウンドへ避難する。(避難訓練・地震)</li> <li>防寒着のファスナーを閉める。(生活)</li> <li>風邪が流行る時期なので、手洗い・うがいをしっかりする。(生活)</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型積木の積み方に気をつける。(生活)</li> <li>はさみの持ち方、扱い方に気をつける。(生活)</li> <li>保育室に蜂が入ってきた時は静かにじっと待つ。(生活)</li> <li>ムカデが出た時の対応を知る。(生活)</li> <li>危険な虫を見つけた時は先生に知らせる。(生活)</li> <li>園外保育時の約束を知り、守って行動する。(交通) 〈電車の乗降に注意する・信号を守る・2人で手をつないで歩く・道の端を歩く〉</li> </ul>	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>阪神大震災の話を通して、地震が起きた時の対応の仕方を確認する。(避難訓練・地震)</li> <li>咳が出る時は手でふさいだりマスクを着用することを意識させる。(生活)</li> </ul>
		2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育室以外にいた時はどうするかを知り、担任の指示に従って行動する。(避難訓練・地震)</li> <li>雪の日は滑りやすいため階段の登り降りやマンホールの上は特に気をつけて歩くように意識させる。(交通)</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育室内にいた時に不審者が侵入した場合を想定して行い、警戒音が聞こえたら担任の顔を見る。(避難訓練・不審者)</li> <li>頭を押さえられたら座る。(避難訓練・不審者)</li> <li>知らない人にはついて行かない。(避難訓練・不審者)</li> <li>笛の音を聞かせる。(避難訓練・不審者)</li> <li>プールサイドを走らない。(生活)</li> <li>水分補給をこまめにする。(生活)</li> <li>長スコップの扱い方に気をつける。(生活)</li> </ul>	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災の話を通して、日頃から安全に気をつけることを子どもに考えさせるようにする。(避難訓練・地震) 〈カラー帽の上から頭巾をかぶる〉</li> <li>交通安全について話し合い、ルールを確認する。(交通)</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育室以外にいた時に不審者が侵入した場合を想定して行い、警戒音(笛)が聞こえたら担任の顔を見て指示に従って動く。(避難訓練・不審者)</li> <li>暑い時の過ごし方を知り、意識する。(生活) 〈汗をかいたらタオルでふく・水分補給・帽子をかぶる・木陰で遊ぶ〉</li> </ul>		

## 年 長

<p>4月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通園時のルールの確認をする。(交通)</li> <li>地震の話と対応を知り、担任の指示に従って行動する。(避難訓練・地震)〈防災頭巾着用→ホール前へ避難する〉</li> <li>アイロンの使い方を知る。(生活)</li> <li>なかよしハウスの遊び方を知る。(生活)</li> <li>大型積木の使い方を知る。(生活)</li> </ul>	<p>10月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災頭巾の扱いを覚える。(避難訓練・地震)</li> </ul>
<p>5月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>針の扱い方を知る。(生活)</li> <li>包丁の扱い方を知る。(生活)</li> <li>家族で出かける時に気をつけることを知る。まいご・公共の場でのマナー(交通・生活)</li> <li>園外保育時の約束を知り、守って行動する。(交通・生活)</li> <li>ムカデが出た時の対応の仕方を知る。(生活)</li> <li>蜂がいた時の対応の仕方を知る。(生活)</li> <li>廊下は走らない。(生活)</li> </ul>	<p>11月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震が起きた時の対応の仕方を知り、担任の指示に従って行動する。(避難訓練・地震)</li> <li>アイロンの使い方を知る。(生活)</li> <li>なかよしハウスに長靴で登らないことを確認する。(生活)</li> <li>鉄棒となわとびとブランコの遊び方を確認する。(生活)</li> </ul>
<p>6月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨の日に気をつけることを知る。(生活)</li> <li>プールあそびのルールを知り、守って楽しむ。(生活)</li> <li>頭を守るために帽子をかぶることを知る。(生活)</li> <li>保育室内にいた時に不審者が侵入した場合を想定して行い、警戒音が聞こえたら担任の顔を見る。(避難訓練・不審者)</li> <li>地震の話聞き、対応の仕方を知り、担任の指示に従って行動する。(避難訓練・地震)〈防災頭巾着用→玄関前へ避難する〉</li> </ul>	<p>12月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中高のグラウンドへ避難する。(避難訓練・地震)</li> <li>机がない所で地震が起きた時の対応を知り、訓練に取り組む。(避難訓練・地震)</li> <li>家族で出かける時に気をつけることを確認し、交通ルールやマナーを守れるようにする。(交通・生活)</li> </ul>
<p>7月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育室以外にいた時に不審者が侵入した場合を想定して行い、警戒音(笛)が聞こえたら担任の顔を見て指示に従って動く。(避難訓練・不審者)</li> <li>雷や火事の話聞き、対応の仕方を知る。(避難訓練・火災)</li> <li>夏休みに気をつけること知り、意識できるようにする。(生活・交通)〈帽子をかぶる・自転車に乗る時・出かけた時・交通ルール〉</li> </ul>	<p>1月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外にいる時に地震が起きたらどうするかを知り、担任の指示に従って行動する。(避難訓練・地震)〈揺れている時は姿勢を低くして頭を守る・つかまるものがあればつかまり動かない・急ぎ足で移動・指示通り動く〉</li> <li>ホールで地震が起きたらどうするかを知り、担任の指示に従って行動する。(避難訓練)〈頭を押さえて低くなる・上靴をすみやかにはく〉</li> </ul>
<p>9月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震が起きた時、園でも家でも慌てずに机の下などに入り身を守ることを知る。(避難訓練・地震)</li> <li>雨の日は廊下・道が滑りやすいので気をつける。(生活)</li> <li>園外保育時の約束を知り、守って行動する。(交通・生活)</li> <li>火事が起きた時の対応の仕方を知り、担任の指示に従って行動する。(避難訓練・火災)</li> </ul>	<p>2月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>急ぎ足でもぶつからないように意識して避難する。(避難訓練・地震)</li> <li>雪の日はどんな所が危ないかを話し合い、気をつけて歩けるようにする。(生活)</li> <li>保育室以外にいた時はどうするかを知り、担任の指示に従って行動する。(避難訓練・地震)</li> <li>ボランティアの学生による防災の紙芝居とスリッパ作りを経験し、防災時に役立つことを知る。(災害)</li> </ul>
		<p>3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災の話を通して、海の近くにいる時は高いところに逃げることや、突然起きる災害に慌てず対応できるようおけいこしていることを知り訓練に取り組む。(避難訓練・地震)</li> </ul>

## 通園時における指導のポイント

電車通園		徒歩通園	
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合場所では並んで静かに待つ。</li> <li>ホーム・電車内では静かにする。</li> <li>乗り降りは足元をよく見る。</li> <li>道路は端を歩く。</li> <li>前の人の後ろを歩く。</li> <li>階段では隣の人と合わせて登り降りする。</li> <li>階段では前の人と間をあけて降りる。</li> <li>立札に並んで待つ。</li> </ul>	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合場所では静かに並んで待つ。</li> <li>道路は端を歩く。</li> <li>車が来たら道路の端に寄って止まる。</li> <li>横断歩道はすみやかに渡り、信号が点滅したら急いで渡る。</li> <li>車やバイクの音に耳を傾ける。</li> <li>前の人の後ろを歩く。</li> <li>階段では前の人と間をあけて降りる。</li> <li>立札に並んで待つ。</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>車が来たら道路の端に寄って止まる。</li> <li>ホームでは他の乗客の迷惑にならないように歩く。</li> <li>公共の物に触らない。</li> <li>車内では足を踏ん張って立つ。</li> </ul>	5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>階段では隣の人と合わせて登り降りする。</li> <li>静かに歩く。</li> <li>踏切を渡る時は教員の声をよく聞く。</li> <li>公共の物に触らない。</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨の日は滑らないように気をつける。</li> <li>前の人と間があかないように歩く。</li> <li>よそ見をせずに階段を見て登り降りする。</li> <li>帰る前にトイレを済ませておく。</li> <li>暑いので帽子をかぶるようにする。</li> </ul>	6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨の日は滑らないように気をつける。</li> <li>止まっている車に触らない。</li> <li>雨の日はレインコートで音が聞こえにくい上に通る車が増えるので、自分でも気をつけて周りを見る。</li> <li>暑いので帽子をかぶるようにさせる。</li> <li>帰る前にトイレを済ませておく。</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>暑さで注意力が散漫になる時期なので、通園での約束を確認する。(集合場所に来る時や帰るときは親子で手をつなぐこと・集合場所では並んで待つこと・集解散は速やかにすること)</li> <li>汗をかいたらふく。(ホームと車内クーラーの温度差のため)</li> </ul>	7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園で必ず水分補給をする。</li> <li>暑さで注意力が散漫になる時期なので、通園での約束を確認する。(集合場所に来る時や帰るときは親子で手をつなぐこと・集合場所では並んで待つこと・集解散は速やかにすること)</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームや車内でのマナーや約束事を確認する。</li> <li>他の乗客に気づいて通り道を開ける。</li> <li>帰りの車内での子どもの状態を把握する。</li> <li>蒸し暑いときはホームでレインコートを脱がせる。(降園時)</li> </ul>	9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>通園での約束事を確認する。</li> <li>集合場所でのマナーを保護者と確認する。</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合場所での親子の状態を把握して、マナーを確認する。</li> <li>通園での約束事を確認する。</li> </ul>	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>通園での約束事を確認する。</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポケットに手を入れない。</li> <li>防寒着のファスナーを閉める。</li> <li>帰る前にトイレを済ませておく。</li> </ul>	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポケットに手を入れない。</li> <li>防寒着のファスナーを閉める。</li> <li>帰る前にトイレを済ませておく。</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>上着の袖口から手を出す。</li> </ul>	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>上着の袖口から手を出す。</li> </ul>



1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームや車内でのマナーや約束事を確認する。</li> <li>ポケットに手を入れない。</li> <li>防寒着のファスナーを閉める。</li> </ul>	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>通園での約束事を確認する。</li> <li>ポケットに手を入れない。</li> <li>防寒着のファスナーを閉める。</li> </ul>
2月	<p>雪の日の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>滑るので気をつける。</li> <li>道路の端に寄り過ぎない。</li> <li>階段の登り降りに気をつける。</li> </ul>	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲がり角では車が来ないか自分で見てから渡る。</li> <li>左右を見て渡ることを確認する。</li> <li>雪の日は滑るので気をつけて歩く。</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団に慣れ緊張感に欠ける時期なので、後ろを見て歩かないこと、遊びながら歩かないことを確認する。</li> <li>進級前なので、年長児に頼らず年少・年中児も自分で意識して歩けるようにする。</li> </ul>	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団に慣れ緊張感に欠ける時期なので、後ろを見て歩かないこと、遊びながら歩かないことを確認する。</li> <li>進級前なので、年長児に頼らず年少・年中児も自分で意識して歩けるようにする。</li> </ul>

## ② 食育について

目的：教員や友だちと和やかな雰囲気の中で食べることの楽しさを味わい、食べ物に興味や関心を持つ。

重要なポイント

- 旬の食べ物を知らせたり、野菜をたくさん食べられるよう献立を工夫する。
- 作物を育てる人、食事を作る人の存在や思いを知ることで、感謝の気持ちを育てる。
- 園庭の実のなる木等自然の恵みを分け合って頂き、楽しさや喜びを共有する。

## おやつにおけるねらい及び内容

	ねらい	内 容		ねらい	内 容
4月			12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• おもちの特性や作り方を知り、おもちつきを楽しめるようにする。おもちはその場で頂き、つきたての美味しさや温かさを感じられるようにする。</li> <li>• 園で収穫したイチヨウの実がぎんなんとして食べられるまでの過程に関心を持たせる。</li> <li>• 冬至の風習を知り、興味や関心を持たせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• おもちつき</li> <li>• ぎんなん</li> <li>• なんきん</li> <li>• ゆず茶</li> <li>• なんきん入りクッキー（年長手作り）</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 年長児は初めてのクッキー作りを楽しみ、年少・年中児に届ける嬉しさを味合わせる。材料や作り方に興味を持たせる。</li> <li>• 年少・年中児は年長児が作り届けてくれたクッキーを喜んで頂くようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• クッキー（年長手作り）</li> </ul>			
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 年長児は、前回のクッキー作りを生かし、意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>• 年少・年中児は、クッキーが届くのを楽しみに待ち、感謝して頂けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ゴマ入りクッキー（年長手作り）</li> </ul>	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日本の文化や風習を知り、興味や関心を持たせる。</li> <li>• おもちに様々な食べ方があることを知らせる。</li> <li>• 鏡餅を皆で分けあって頂き、一年の健康と幸せを願うようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 鏡開きのおもち（こぶ・干し柿・橙）</li> <li>• あべかわもち</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 旬の食べ物を知り、季節を感じさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• すいか</li> </ul>			
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日本の伝統文化や風習を知り、興味や関心を持たせる。</li> <li>• 年長児は団子作りを楽しみながら、材料や作り方に興味を持たせる。年少・年中児を接待する経験を通して年長児としての自覚を深められるようにする。年少・年中児は年長児が接待してくれることを喜び、作ってくれたお団子を喜んで頂くようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• お月見団子（年長手作り）</li> </ul>	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日本の文化や風習を知り、興味や関心を持たせる。</li> <li>• 元気に過ごせることを願っていり豆を食べるようにする。</li> <li>• 節分の由来や豆について知り豆まきを楽しませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• いり豆</li> </ul>
			3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 年長児は年中児へクッキー作りを伝え、年中児は次は自分たちが作ることを知り、楽しみにできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• レーズン入りクッキー（年長手作り）</li> </ul>
10月					
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• さつまいもについて知り、収穫できたことを喜べるようにする。</li> <li>• 焼き芋が出来上がるのを楽しみに待ち、皆で分け合って食べる楽しさを味合わせる。年長児は焼き芋の手伝いを楽しみながら取り組めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 焼き芋</li> </ul>			

### ③ 自然環境について

目的：四季折々の変化や身近な動植物に興味や関心を持つ。

重要なポイント

- 日々の園内散策を通し、身近な生き物や草花、樹木を観察することで、発見する楽しさを味わう。
- 雨や風、虫や鳥などの自然の音に耳を傾け関心を持たせる。
- 園内の収穫物を頂く体験から自然の恵みや成り立ちに興味を持たせる。
- 季節の変化を感じ、生活の仕方を自分なりに気づいて変えることができる。
- 身近な動植物に親しみ、命の尊さを知らせる。

### 3年間通してのねらい及び内容

	ねらい	内 容		ねらい	内 容
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>草花や虫に興味や関心を持てるようにする。</li> <li>実のなる木に花が咲いていることを知らせる。</li> <li>トマトを育てることに興味や関心を持ち楽しみに世話ができるようにする。(年長)</li> <li>チューリップの球根を大切に思い、来年も花が咲くことを楽しみにできるようにする。(年長)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内散策</li> <li>チューリップ・たんぽぽ・おおいぬのふぐり・あり・だんごむし</li> <li>トマトの苗植え・チューリップの球根を掘り上げる</li> </ul>	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏から秋への季節の移り変わりに気づき、身近な自然に興味や関心が持てるようにする。</li> <li>果実を収穫できることを喜び、分け合って食べる楽しさを味わえるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣替え</li> <li>園内散策</li> <li>ざくろ・みかん・柿</li> </ul>
			11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋の自然に触れ、興味や関心が持てるようにする。</li> <li>さつまいもの収穫を喜び、分け合って食べる楽しさを味わえるようにする。</li> <li>チューリップの球根を植え、楽しみにできるようにする。</li> <li>ヒヤシンスの水耕栽培に興味や関心が持てるようにする。</li> <li>食べたみかんの皮を天日干しにすることに興味や関心を持てるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内散策</li> <li>銀杏洗いを見る</li> <li>お芋掘り・焼き芋</li> <li>チューリップの球根植え</li> <li>ヒヤシンス</li> <li>みかんの皮を天日干しにする</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な草花や生き物に親しめるようにする。</li> <li>生き物の世話を楽しんでできるようにする。(年長)</li> <li>さつまいもを育てることに興味や関心を持ち、楽しみに世話ができるようにする。(年長)</li> <li>危ない虫がいることを知り、気をつけられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内散策</li> <li>つつじ・からすのえんどう</li> <li>小鳥・カモ当番(年長)</li> <li>さつまいもの苗植え</li> <li>せんだんの花</li> <li>ざくろの花</li> <li>ムカデ・はち・毛虫</li> </ul>	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬の生活に必要な生活習慣を身につけ、風邪の予防ができるようにする。</li> <li>園庭の木々の葉っぱが落ちていく様子を見て、落葉樹と常緑樹があることを知る。</li> <li>秋から冬への季節の移り変わりに気づき、身近な自然に興味や関心が持てるようにする。</li> <li>ヒヤシンスの根っこが伸びている変化に気づけるようにする。</li> <li>みかん湯をして、みかんの香りや手が温くなる喜びを感じられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手洗い・うがい・マスク</li> <li>園内散策</li> <li>ヒヤシンス</li> <li>みかん湯</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>春から夏への季節の移り変わったことに気づき、身近な自然に興味や関心が持てるようにする。</li> <li>実のなる木に興味や関心を持ち、収穫し分け合って食べる楽しさを味わえるようにする。</li> <li>梅からジュースができることを知り、興味や関心を持てるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣替え</li> <li>園内散策</li> <li>紫陽花、ジュンベリー・やまもも・ブルーベリー</li> <li>カタツムリ・蝶々</li> <li>梅ジュース作り</li> </ul>	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬の生活に必要な生活習慣を身につけ、元気に過ごせるようにする。</li> <li>冬の自然(氷・雪・霜・北風)に触れ、興味や関心を持てるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手洗い・うがい・マスク</li> <li>園内散策</li> <li>さざんか</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏の生活に必要な生活習慣を身につけ、元気に過ごせるようにする。</li> <li>トマトやブルーベリーの収穫を喜び、分け合って食べる楽しさを味わえるようにする。</li> <li>星や夏の虫に興味や関心を持てるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水分補給・汗をかいたら拭く・木陰で遊ぶ</li> <li>トマト・ブルーベリーの収穫</li> <li>夏の夜空を見る(年長)</li> <li>セミ・クワガタ虫・カブト虫</li> </ul>	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬の自然(氷・雪・霜・北風)に触れ、興味や関心を持ち、発見したり、疑問に思えるようにする。</li> <li>寒さの中でも春が来るのを楽しみにしている動植物に、興味や関心を持てるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内散策</li> <li>チューリップの芽・ヒヤシンス</li> <li>せんだんの小枝</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏の生活に必要な生活習慣を身につけ、元気に過ごせるようにする。</li> <li>虫に興味や関心を持てるようにする。</li> <li>実のなる木を観察し変化に気づけるようにする。</li> <li>十五夜に向けて月の満ち欠けに興味や関心を持てるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水分補給・汗をかいたら拭く・木陰で遊ぶ</li> <li>バッタ捕り</li> <li>鈴虫・とんぼ</li> <li>園内散策</li> </ul>	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬から春への季節の移り変わりに気づき、身近な自然に興味や関心を持てるようにする。</li> <li>亀が冬眠から目を覚ますことを知り、春の訪れに気づけるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内散策</li> <li>チューリップ・ヒヤシンス</li> <li>亀</li> </ul>

#### ④ 誕生日のお祝いについて

目的：家族の愛情に包まれ祝福されて生まれてきたことを実感し、ひとつ大きくなったことを喜べるようにする。

重要なポイント

- ひとり一人の生まれた日を大切に考え、お祝いする。
- 保護者のお話から、自分は望まれ生まれてきた大切な存在であり、家族に見守られ大切に育ててもらっていることに気づかせる。
- 友だちを祝う気持ちを持てるようにする。

#### 各学年における留意点

年少児	年中児	年長児
<p>自分中心の世界にいる3歳児が、友だちや担任、お家の人から「おめでとう。」とお祝いしてもらうことで、自分のことを愛し、大切に思ってくれる人の存在を知り、喜びが感じられるお祝いを積み重ねていけるようにしている。</p> <p>お祝いの持ち方は、3歳児にわかるように身近な動物がお祝いにやってくるというお話で進めている。お家の方一人も参加していただき、お祝いの子どもの隣に座ってもらっている。動物たちが歌に合わせて、お祝いの子どもに「おめでとう。」を言いに来ることで、周りで見ているクラスの子どもも一緒におめでとうを言いたくなる気持ちになるようにしている。</p> <p>プレゼントはクラスみんなのおめでとうの言葉と拍手でささやかなものであるが、わずかな時間であっても、温かい雰囲気を楽しみ、友だちのお祝いを楽しみにできるようにしている。</p>	<p>年少組でのお祝いの経験から、自分の誕生日だけではなく友だちの誕生日のお祝いを楽しみにする気持ちを持てるようにしている。また、家族の存在に目を向け、育ててもらったことへの感謝の気持ちを持てるようにしている。</p> <p>お祝いの話は、5本のろうそくを見ながらお家の方に1歳の頃、2歳の頃…と思い出に残る4歳までの子どもの成長の姿や印象的なことを簡単に話してもらっている。お祝いの子どもは自分の小さかった頃の話を書くことで、自分は愛され大切にされて大きくなったことを実感できるようにし、周りの子どもたちは興味や関心を寄せながら話が聞けるようにしている。</p> <p>プレゼントはクラスの友だちが教師の指導のもとに季節感を大切にしながら作り、箱に入れて渡している。プレゼント作りは、のりやはさみの使い方、折り紙の折り方等の基本的な経験を積み重ねている。</p>	<p>これまでのお祝いの経験から友だちのお祝いを楽しみに出来るようになり、よりお祝いの時間がじっくり落ち着いて持てるように積み重ねている。</p> <p>お祝いの話は、生まれた日の様子を事前に保護者に書いてもらい担任が要約し、話を進めている。お祝いされる子どもが“自分はかけがえのない存在としてこの世に生を受け、家族や周りの人のたくさんの愛情に包まれて今日まで大きくなった”という喜びと感謝の気持ちを持てるようにしている。</p> <p>プレゼント作りでは年中組での経験を活かし、自分がプレゼントしたいものを考え丁寧に作れるようにしている。プレゼントを渡した後は、クラスの子どもたちひとり一人がお祝いの子どもに握手をし「おめでとう。」の言葉をかけることで、よりお祝いされている嬉しさを実感できるものになっている。</p>

#### ⑤ 四季の行事について

目的：四季を感じ、日本の風習に興味や関心を持たせる。

重要なポイント

- 行事を特別な取り組みにせず、普段の園生活の中に自然と溶け込めるように工夫する。
- 行事を通して季節の移り変わりを感じ、四季を感じる園生活を送るようにする。

	ねらい	内 容		ねらい	内 容
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>これから始まる園生活を楽しみにし、入園・進級を喜べるようにする。</li> <li>保護者にも子どもの成長を感じてもらえるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入園式</li> <li>進級式</li> </ul>	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊具のない広場で親子で遊び、季節を感じながら散歩することで親子のやりとりを楽しめるようにする。</li> <li>園で育てたさつまいもが収穫できたことを喜べるようにする。焼き芋では焚き火の炎を見て、煙の匂いをかいだり、焼き芋の匂いや温かさ、湯気の様子を感じられるようにする。</li> <li>普段の保育日に足を運べない保護者に来園してもらい、幼稚園での子どもの姿や成長を感じてもらえるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子遠足（年少）</li> <li>焼き芋</li> <li>休日参観</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの健やかな成長を願う端午の節句の由来や昔から伝わる風習を知らせ、興味や関心を持てるようにする。大人はいつも子どもの成長を願っていることを感じられるようにする。</li> <li>園外保育では自然の中を散策し、新緑の美しさや春の気候の気持ちよさを感じられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>端午の節句</li> <li>園外保育（年中・年長）</li> </ul>	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>おもちつきを通して正月を迎える日本の伝統文化を知らせる。</li> <li>冬至に向けての取り組みを通して、厳しい冬を元気に過ごせるよう工夫してきた先人の知恵や太陽への感謝を知らせ感じられるようにする。</li> <li>2学期を振り返り、楽しく過ごせたことを喜べるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おもちつき</li> <li>冬のつどい</li> <li>終業式</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>水に慣れ、親しめるようにする。</li> <li>水の冷たさや気持ち良さを感じ、プール遊びを楽しめるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プール開き</li> </ul>	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>新年の始まりを知らせ、新たな気持ちで新学期を迎えられるようにする。</li> <li>一年の健康や幸福を願って鏡開きをし、日本の伝統文化を知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>始業式</li> <li>鏡開き</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>七夕の由来を知らせ、笹飾りを作ることをきっかけに、夏の夜空に興味や関心を持てるようにする。</li> <li>1学期を振り返り、楽しく過ごせたことを喜べるようにする。</li> <li>年長児は終業式の午後から再び登園し、夏の夜を教員や友だちと過ごし楽しむようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>七夕</li> <li>終業式</li> <li>夏の夜の集い（年長）</li> </ul>	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの成長を願う豆まきの由来を知らせる。邪気や災いを払うために豆まきをし、健康を願っていき豆を頂く日本の伝統文化を知らせ、興味や関心を持てるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>豆まき</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員や友だちと再会した喜びを味わい、これからの園生活を楽しみに新学期を迎えられるようにする。</li> <li>月がきれいに見える季節であることを知らせ、興味や関心を持てるようにする。ススキやお月見団子を供え、お月見を行ってきた日本の風習を知らせ、興味や関心を持てるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>始業式</li> <li>お月見</li> </ul>	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひなまつりの由来やひな人形を飾る昔からの風習を知らせ、大人はいつも子どもの成長を願っていることを感じられるようにする。</li> <li>年長児は楽しかった経験や活動を皆の前で発表することで、自信を持てるようにする。年少・年中児には憧れの年長児の姿を見ることで進級への期待を味わえるようにする。</li> <li>年長児は小学校へ上がる喜びや希望を感じられるようにし、自信を持って卒園できるようにする。年少・年中児は式に参加し、言葉掛けや歌を歌うことで卒園を祝う気持ちを持てるようにする。</li> <li>年少・年中児は進級への喜びを持てるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひなまつり</li> <li>お別れ会</li> <li>卒園式</li> <li>終業式</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸外遊びに適した10月は「うんどう会ごっこ」と称して体育遊びや集団遊びを取り入れ、身体を動かす心地よさを感じられるようにする。友だちと力を合わせたり、ルールを守ることができるようにする。</li> <li>園外保育は春と同じ場所へ出かけ、季節の違いを感じられるようにする。秋の紅葉の美しさを感じられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>うんどう会</li> <li>園外保育（年中・年長）</li> </ul>			

## ⑥ 人形劇・楽しいつどい・留学生との交流について

### 人形劇について

目的：お話の世界に浸り、楽しむことで想像力を育てる。

#### 重要なポイント

- お話は季節感や昔話を大事にし、子どもの成長に見合った題材を選ぶ。
- 子どもがイメージを膨らませることができるよう、場面設定や人形の動き、語り口調等に配慮する。
- 子どもの中にお話が浸透し、より楽しめるようになるために同じお話を繰り返し行う。

### 楽しいつどいについて

目的：様々な芸術に触れ、子どもの感性に働きかける。

#### 重要なポイント

- 子どもが心動かす体験となるよう、実際に間近で聴き、見させる。
- 子どもが楽器や歌を身近に感じ、興味を持てるように耳馴染みのある曲を選ぶ。
- 楽しいつどいの後には子どもが感じたことや思ったことを表現できる時間を持つ。

### 留学生との交流について

目的：様々な国の留学生と一緒に遊ぶことで親しみの気持ちを持ち、異国へ興味や関心を持たせる。

#### 重要なポイント

- 留学生と一緒に楽しく過ごす中で優しさに触れ、自分から関わりを求めるようにする。
- 留学生の外国語を身近に聞くことで、様々な言語があることに気づかせる。
- 留学生の国名や場所、生活の様子等の話を興味を持って聞く。



## 年 少

	ねらい	内 容		ねらい	内 容
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>春の季節を感じられるようにする。</li> <li>お話の繰り返しを楽しめるようにする。</li> </ul>	人形劇 ・ちょうちょうの兄弟	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な国や言葉があることを知らせる。</li> <li>留学生に親しみを持てるようにする。</li> </ul>	留学生との交流 ＊11月～2月
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>お話に耳を傾けられるようにする。</li> </ul>	素話 ・きんたろう	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>優しい気持ちを感じられるようにする。</li> <li>冬の季節を感じられるようにする。</li> </ul>	人形劇 ・かさじぞう
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>お話を聞いて自分の中でイメージを持てるようにする。</li> </ul>	素話 ・いろいろなところへ連れて行ってもらおうとした男の子			
7月					
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な楽器を身近に見て、音色を聞き、感じられるようにする。</li> </ul>	楽しいつどい ・いろんな楽器の音色を楽しむ	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返しのお話を楽しめるようにする。</li> <li>言葉のやりとりを楽しめるようにする。</li> <li>様々なリコーダーがあることを知らせる。</li> <li>リコーダーの音色に興味を持って耳を傾けられるようにする。</li> </ul>	人形劇 ・てぶくろ  楽しいつどい ・笛の音色を楽しむ
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返しの言葉を楽しめるようにする。</li> <li>みんなで力を合わせると大きな力になることを感じられるようにする。</li> </ul>	人形劇 ・おおきなかぶ			

\*楽しいつどいについては平成26年度に実施した内容である。

年 中

	ねらい	内 容		ねらい	内 容
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとつ大きくなったことを喜び、新しいことに向かっ ていこうという気持ちを感じ られるようにする。</li> </ul>	進級式の人形劇 <ul style="list-style-type: none"> <li>兄と妹</li> <li>赤ずきん</li> </ul>	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>母親を思う気持ちを感じら れるようにする。</li> </ul>	人形劇 <ul style="list-style-type: none"> <li>やまなしもぎ</li> </ul>
			12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>優しい気持ちを感じられる ようにする。</li> <li>冬の季節を感じられるよう にする。</li> </ul>	人形劇 <ul style="list-style-type: none"> <li>かさじぞう</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間の優しさ、強さを感じ られるようにする。</li> <li>青虫の成長に興味や関心を 持てるようにする。</li> <li>留学生に親しみを持てるよ うにする。</li> <li>地球儀を見て、世界にはた くさんの国があることを知 らせる。</li> <li>異国の言葉を知り、異国に 興味や関心を持てるように する。</li> </ul>	素話 <ul style="list-style-type: none"> <li>きんたろう</li> </ul> 人形劇 <ul style="list-style-type: none"> <li>あおむしあお</li> </ul> 留学生との交流 * 5月～2月	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性との声の違いを感じ、 興味を持って聞けるように する。</li> </ul>	楽しいつどい <ul style="list-style-type: none"> <li>男性の歌声 を楽しむ</li> </ul>
			2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>大工とおにろくのやりとり を楽しめるようにする。</li> <li>働き者で優しい心を持つこ との大切さを感じられるよ うにする。</li> <li>様々なリコーダーがあるこ とを知らせる。</li> <li>リコーダーの音色に興味を 持って耳を傾けられるよう にする。</li> </ul>	人形劇 <ul style="list-style-type: none"> <li>大工とおにろく</li> </ul> 人形劇 <ul style="list-style-type: none"> <li>ホレおばさん</li> </ul> 楽しいつどい <ul style="list-style-type: none"> <li>笛の音色を 楽しむ</li> </ul>
			3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>お話の中に未来への希望や 喜びが込められていること を感じられるようにする。</li> </ul>	おわかれ会 の人形劇 <ul style="list-style-type: none"> <li>花咲かじい さん</li> <li>3匹のぶた</li> <li>ももたろう</li> </ul>
6月					
7月					
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な楽器を身近に見て、 音色を聞き、感じられるよ うにする。</li> </ul>	楽しいつどい <ul style="list-style-type: none"> <li>いろんな楽器の 音色を楽しむ</li> </ul>			
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>村人のために勇気を出して 行くお婆さんの気持ちや、 やまんばの優しさを感じら れるようにする。</li> <li>日本の伝統文化を知らせる。</li> </ul>	人形劇 <ul style="list-style-type: none"> <li>やまんばの にしき</li> </ul> 楽しいつどい <ul style="list-style-type: none"> <li>狂言</li> </ul>			

\*楽しいつどいについては平成26年度に実施した内容  
である。

## 年 長

	ねらい	内 容		ねらい	内 容
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとつ大きくなったことを喜び、新しいことに向かっていこうという気持ちを感じられるようにする。</li> </ul>	進級式の人形劇 <ul style="list-style-type: none"> <li>兄と妹</li> <li>赤ずきん</li> </ul>	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>母親を思う気持ちを感じられるようにする。</li> </ul>	人形劇 <ul style="list-style-type: none"> <li>やまなしもぎ</li> </ul>
			12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>優しい気持ちを感じられるようにする。</li> <li>冬の季節を感じられるようにする。</li> </ul>	人形劇 <ul style="list-style-type: none"> <li>かさじぞう</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間の優しさ、強さを感じられるようにする。</li> <li>青虫の成長に興味や関心を持てるようにする。</li> <li>留学生に親しみを持てるようにする。</li> <li>地球儀を見て、世界にはたくさん国があることを知らせる。</li> <li>異国の言葉を知り、異国に興味や関心を持てるようにする。</li> </ul>	素話 <ul style="list-style-type: none"> <li>きんたろう</li> </ul> 人形劇 <ul style="list-style-type: none"> <li>あおむしあお</li> </ul> 留学生との交流 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 5月～2月</li> </ul>	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性との声の違いを感じ、興味を持って聞けるようにする。</li> </ul>	楽しいつどい <ul style="list-style-type: none"> <li>男性の歌声を楽しむ</li> </ul>
			2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>大工とおにろくのやりとりを楽しめるようにする。</li> <li>働き者で優しい心を持つことの大切さを感じられるようにする</li> <li>様々なリコーダーがあることを知らせる。</li> <li>リコーダーの音色に興味を持って耳を傾けられるようにする。</li> </ul>	人形劇 <ul style="list-style-type: none"> <li>大工とおにろく</li> </ul> 人形劇 <ul style="list-style-type: none"> <li>ホレおばさん</li> </ul> 楽しいつどい <ul style="list-style-type: none"> <li>笛の音色を楽しむ</li> </ul>
6月					
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の面白さを感じられるようにする。</li> </ul>	人形劇 <ul style="list-style-type: none"> <li>食べられたやまんば</li> </ul>			
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な楽器を身近に見て、音色を聞き、感じられるようにする。</li> </ul>	楽しいつどい <ul style="list-style-type: none"> <li>いろんな楽器の音色を楽しむ</li> </ul>	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>お話の中に未来への希望や喜びが込められていることを感じられるようにする。</li> </ul>	おわかれ会の人形劇 <ul style="list-style-type: none"> <li>花咲かじいさん</li> <li>3匹のぶた</li> <li>ももたろう</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>村人のために勇気を出して行くお婆さんの気持ちや、やまんばの優しさを感じられるようにする。</li> <li>日本の伝統文化を知らせる。</li> </ul>	人形劇 <ul style="list-style-type: none"> <li>やまんばのにしき</li> </ul> 楽しいつどい <ul style="list-style-type: none"> <li>狂言</li> </ul>			

\*楽しいつどいについては平成26年度に実施した内容である。

## ⑦ リズム運動・体育的な遊び・集団遊び・わらべ歌遊びについて

目的：発達段階に応じた運動や遊びを意欲的に取り組むことで、普段の生活の中で不足している運動量を保障し、バランスのよい身体を作る。

重要なポイント

(リズム運動)

- ピアノに合わせて心地よく体を動かし、主体的に活動する。
- 動きのポイントを押さえた指導をする。

(体育的な遊び)

- 安全な遊具の使い方を知り、ルールを守って遊ぶ。

(集団遊び・わらべうた遊び)

- 友だちと一緒にルールを守って遊ぶ。
- 歌いながら動きや言葉の響きを味わい、友だちと楽しさを共有する。

	ねらい	内容		ねらい	内容
1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 歌に合わせて体を動かす楽しさを感じさせる。</li> <li>• 水の心地よさを感じ、友だちと一緒に楽しみながら水に慣れていけるようにする。</li> <li>• 体力作りや安全に遊ぶための約束事を知り、経験を通して身を守ることを身に付けられるようにする。</li> </ul>	体育的な遊び <ul style="list-style-type: none"> <li>• わらべ歌体操</li> <li>• プール遊び</li> <li>• 滑り台(総合遊具)</li> </ul> ジャングルジム <ul style="list-style-type: none"> <li>• わらべ歌遊び</li> <li>• かたつむり</li> <li>• でんでんむし</li> </ul>	3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>• リズム運動において基本の動きのポイントを意識させる。</li> <li>• 簡単なルールを守って遊ぶ楽しさを味合わせる。</li> </ul>	集団遊び <ul style="list-style-type: none"> <li>• 鬼ごっこ</li> <li>• わらべ歌遊び</li> <li>• どんどんばし</li> </ul>
			4学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 基本の動きのポイントを意識させ、意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>• 年長児の動きを見て憧れを持ち、まねて意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>• 年少時に楽しんだ遊具で安全に気を付けて友だちと一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを味合わせる。</li> <li>• 水の掛け合いを楽しんだり、友だちと遊びながらプール遊びが楽しいと感じられるようにする。</li> </ul>	リズム運動 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 基本の動きに加えて</li> <li>• つばめ・うま・スキップ・ギャロップ・かみなりどん</li> </ul> 体育的な遊び <ul style="list-style-type: none"> <li>• 滑り台(総合遊具)</li> <li>• ジャングルジム</li> <li>• プール遊び</li> </ul> わらべ歌遊び <ul style="list-style-type: none"> <li>• でんでんむし</li> </ul>
2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 教員を中心として集団遊びを楽しめるようにする。</li> <li>• 友だちと一緒に体を動かすことが楽しいと感じられるようにする。</li> <li>• 教員や年長児の動きをまねて体を動かせるようにする。</li> </ul>	体育的な遊び <ul style="list-style-type: none"> <li>• 運動月間の取り組み</li> <li>• サーキット</li> </ul> リズム運動 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 基本の動き</li> <li>• ウサギ・時計・金魚・かめ・わに・あひる・めだか・とんぼ</li> </ul> 集団遊び <ul style="list-style-type: none"> <li>• むっくりくまさん</li> <li>• あぶくたった</li> </ul> わらべ歌遊び <ul style="list-style-type: none"> <li>• せんべい</li> <li>• うみだよかわだよ</li> <li>• りんごもぎ</li> </ul>			

	ねらい	内 容		ねらい	内 容
5学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちとのつながりを深めるため、クラスで共通の目的を持って取り組める運動遊びを楽しめるようにする。</li> <li>じゃんけんの要素が入った集団遊びを楽しめるようにする。</li> <li>体力もつき心地よく動き意欲的に取り組む姿が見られるので、その経験を積み重ねていくようにする。</li> </ul>	リズム運動 4学期の動きに加えて <ul style="list-style-type: none"> <li>ポート・縄跳び（走り跳び・両足跳び）</li> <li>大縄跳び（くぐり抜け）</li> </ul> 体育的な遊び <ul style="list-style-type: none"> <li>運動月間の取り組み</li> <li>集団遊び</li> <li>へびじゃんけん</li> <li>わらべ歌遊び</li> <li>おちゃをのみにきてください</li> <li>ずいずいずっころばし</li> <li>たまりやたまりや</li> </ul>	8学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の力を出し切る心地よさや仲間と気持ちを共有し、やり遂げた達成感を味わえるようにする。</li> <li>初めてリズム運動をする年少児のお手本になるよう意識して取り組ませる。</li> <li>新たな動きに喜んで取り組むと共に基本の動きもポイントを押さえて取り組ませる。</li> <li>体のバランス、リズム感、手足の協応性を促すための運動に取り組ませる。</li> </ul>	リズム運動 7学期の動きに加えて <ul style="list-style-type: none"> <li>二人組スキップ・兄弟すずめ・手押し車</li> </ul> 体育的な遊び <ul style="list-style-type: none"> <li>運動月間の取り組み</li> <li>竹馬</li> <li>ドッチボール</li> </ul> 集団遊び <ul style="list-style-type: none"> <li>はじめのの第一歩</li> <li>わらべ歌遊び</li> <li>いちわのからす</li> <li>お月さんこんばんは</li> <li>お月さまくぐるは</li> </ul>
6学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>俊敏な動きを遊びの中で身につけ、体の動きをコントロールする力をつけていく。</li> <li>友だちと二人組でリズム運動を楽しめるようにする。</li> </ul>	集団遊び <ul style="list-style-type: none"> <li>鬼ごっこ</li> <li>わらべ歌遊び</li> <li>なべなべ(二人以上)</li> </ul>	9学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>のびのびとリズム運動を楽しみ、自分の体を思うように動かすことのできる喜びや満足感を味わわせる。</li> </ul>	リズム運動 8学期の動きに加えて <ul style="list-style-type: none"> <li>ちょうちょう</li> <li>五色の玉</li> </ul> 体育的な遊び <ul style="list-style-type: none"> <li>歌に合わせたまりつき</li> </ul>
7学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>リズム運動の新たな動きに意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>年中児との混合リズムでは年長児の自覚を持って取り組めるようにする。</li> <li>これまでの経験を通し、集団遊びのルールを確認し、安全面に気を付けて遊べるようにする。</li> <li>興味を持ち、自ら進んで意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>十分に水に慣れ親しみ、友だちと活発にプール遊びを楽しめるようにする。</li> </ul>	リズム運動 5学期の動きに加えて <ul style="list-style-type: none"> <li>横ギャロップ</li> <li>とんび</li> </ul> 体育的な遊び <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄棒・丸木橋・まりつき・プール遊び</li> </ul> 集団遊び <ul style="list-style-type: none"> <li>渦巻きじゃんけん</li> <li>わらべ歌遊び</li> <li>川のきわの水車</li> <li>げろ</li> <li>げろ合戦</li> <li>なみなみわん</li> <li>わちゃくり</li> <li>たなばたのかみさん</li> </ul>			

## ⑧ 制作活動について

目的：発想を豊かにし、自分らしさを表現できるようにする。

重要なポイント

- 自分の経験やイメージしたことを表現する楽しさや、自分の手で作る喜びを味わえるようにする。
- 様々な素材や道具の特性を知り、扱いに慣れるようにする。
- 一斉に制作させる取り組みにおいては、発達段階に見合った内容にする。
- 誕生日プレゼント作りでは、年中児は発達段階を踏まえた意図的な内容に取り組む経験を重ね、年長児は年中児での経験を活かして、自分でプレゼントしたいものを考え、作れるような取り組みにする。

## 年 少

	ねらい	内 容		ねらい	内 容
4月			11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の見た木を描くことを楽しむ。</li> <li>• クレヨンの面の使い方を知る。</li> <li>• スタンピングを楽しむ。</li> <li>• 形が変化することを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 紅葉の木</li> <li>• 油粘土</li> </ul>
5月					
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 絵を描くことを楽しむ。</li> <li>• 色の広がりを楽しむ。</li> <li>• ぬらし絵の手順を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自由画</li> <li>• ぬらし絵</li> </ul>			
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 丁寧に描く。</li> <li>• 筆は大事に扱うことを知る。</li> <li>• 七夕飾りを楽しんで作る。</li> <li>• のりづけの仕方を知る。</li> <li>• 自分の指先を意識する。</li> <li>• のりの量を加減して薄くのばす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自由画</li> <li>• ぬらし絵</li> <li>• 七夕飾り</li> </ul>	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• みかんを食べたことを思い出して、楽しんで作る。</li> <li>• 紙を丸めることを意識させる。</li> <li>• ちり紙の性質を知り、破れないよう優しく扱う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• みかん</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 粘土の感触を楽しむ。</li> <li>• 年長児を真似てお月見団子を作ることを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 油粘土</li> </ul>	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• マジックの使い方を知る。</li> <li>• 指先でのりを薄くのばす。</li> <li>• 作って遊ぶことを楽しみに取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• こま</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 色の変化を楽しむ。</li> <li>• 運動会を楽しみな気持ちで自分の顔を丁寧に描く。</li> <li>• 色鉛筆の使い方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ぬらし絵（2色）</li> <li>• 運動会プログラム表紙</li> </ul>	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分がかぶることを楽しみに鬼を作る。</li> <li>• 指先でのりを薄くのばす。</li> <li>• 色鉛筆の使い方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 鬼のお面</li> </ul>
			3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• おひなさまの由来を知り、自分のおひなさまを作ることを楽しむ。</li> <li>• 指先でのりを薄くのばす。</li> <li>• 色鉛筆の使い方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• おひなさま</li> </ul>

年 中

	ねらい	内 容		ねらい	内 容
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>丁寧に取り組む。</li> <li>はさみの扱いを知る。</li> <li>はさみは危なくないよう意識させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誕生日プレゼント（チューリップ・切り花）</li> </ul>	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しかった遠足を思い出して描く。</li> <li>どんぐりの折り方を知り、折り目を合わせて折る。</li> <li>どんぐりの帽子の角をしっかりと折る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠足の絵</li> <li>誕生日プレゼント（どんぐり）</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>折紙をきちんと合わせて折る。</li> <li>のりの量を加減する。</li> <li>はさみの持ち方を意識させる。</li> <li>クレヨンの角と面の使い方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こいのぼり</li> <li>自由画</li> </ul>	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>こびと・ぱくぱくの折り方を知り、角をきちんと合わせて折り目をしっかりとつける。</li> <li>筆は丁寧に動かす。</li> <li>筆は立てて持つことを意識させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誕生日プレゼント（こびと・パクパク）</li> <li>ぬらし絵</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>あじさいは小さな花が集まっていることを知る。</li> <li>折紙をきちんと合わせて折る。</li> <li>ぬらし絵の手順を知る。</li> <li>粘土の感触を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誕生日プレゼント（あじさい）</li> <li>ぬらし絵（2色）</li> <li>みつろう粘土</li> </ul>	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>線をよく見て線に沿って切る。</li> <li>雪だるまの帽子や手袋を自分で好きな形に切って楽しんで作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>たこ</li> <li>雪だるま</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>折紙をまっすぐつなげられるようにする。</li> <li>こよりの結び方を知る。</li> <li>短冊に絵を描く。</li> <li>手元をよく見てはさみを使う。</li> <li>のりをすみずみまでのばす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>七夕飾り</li> <li>誕生日プレゼント（星・すいか・ひまわり）</li> </ul>	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>左右からはさみを入れて切り取る。</li> <li>どんな模様になるのか楽しみに取り組む。</li> <li>節分の風習を知り、楽しんで取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雪の結晶</li> <li>鬼のお面</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>クレヨンの角で目を描く。</li> <li>バッタの折り方を知り、折り目を合わせて折る。</li> <li>平テープをねじり、トンボの羽を作ることを知る。</li> <li>粘土でお月見団子を作り、収穫への感謝の気持ちで供える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誕生日プレゼント（バッタ・とんぼ）</li> <li>油粘土</li> </ul>	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>やっこさんの折り方を知り、角を合わせて指先に力を入れて折る。</li> <li>顔の丸は紙を動かして切る</li> <li>小さい紙を丁寧に切る。</li> <li>進級を楽しみに新年中児におめでとうの気持ちで作る。</li> <li>卒園する年長児に思いを寄せて作る。</li> <li>新入園児にプレゼントすることを楽しみに作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誕生日プレゼント（やっこさん）</li> <li>おひなさま</li> <li>チューリップ（壁面）</li> <li>卒園児へのプレゼント（ペンダント）</li> <li>入園児へのプレゼント（ペンダント）</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>のりの量を加減する。</li> <li>コスモスの作り方を知り、花びらを1枚ずつ丁寧に貼る。</li> <li>運動会を楽しみに取り組む。</li> <li>楽しかった運動会を思い出して描く。</li> <li>3色の色の変化を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誕生日プレゼント（コスモス）</li> <li>運動会プログラム絵表紙</li> <li>ぬらし絵（3色）</li> </ul>			

# 年 長

	ねらい	内 容		ねらい	内 容
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が作りたいものを考え楽しんで作る。</li> <li>誕生日に思いを寄せ丁寧に作る。</li> <li>色鉛筆の扱い方を知り片付けまできちんとする。</li> <li>こいのぼりを作ることを知り楽しんで布を切る。</li> <li>布の性質を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誕生日プレゼント（折り紙・絵・貼り絵等）</li> <li>こいのぼり（うろこ）</li> </ul>	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の経験したことを絵にする。</li> <li>手順を思い出し落ち着いて取り組む。</li> <li>色の変化を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お芋ほり・焼き芋の絵</li> <li>ぬらし絵（3色）</li> <li>園生活の絵</li> <li>誕生日プレゼント</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>手元をしっかり見てアイロンをかける。</li> <li>手元を見て針の扱いに気をつけてうろこを縫う。</li> <li>自分がかぶる兜を楽しんで作る。</li> <li>遠足の絵に自分を表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こいのぼり（うろこ）</li> <li>兜</li> <li>遠足の絵</li> <li>誕生日プレゼント</li> </ul>	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の経験したことを絵にする。</li> <li>作りたい品物を工夫して作る。</li> <li>必要なものを考えて作る。</li> <li>ひとつひとつ丁寧に作る。</li> <li>作った後の片付けをきちんとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おもちつき</li> <li>お店やさんごっこに向けての取り組み</li> <li>誕生日プレゼント</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>クレヨンの角と面を使って描く。</li> <li>じゃばら折りを知り丁寧に折る。</li> <li>染めた紙は丁寧に広げ、色の様子を楽しむ。</li> <li>鉛筆の使い方を知る。</li> <li>マジックの扱い方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こいのぼりの絵</li> <li>あじさい</li> <li>七夕飾り</li> <li>園生活の絵</li> <li>誕生日プレゼント</li> </ul>	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のマフラーができることを楽しみに最後まで根気よく取り組む。</li> <li>卒園アルバムの表紙になることを知り、丁寧に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マフラー</li> <li>卒園アルバム用表紙（ぬらし絵）</li> <li>誕生日プレゼント</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>こよりを自分の手で結ぶ。</li> <li>短冊に願い事の絵を描く。</li> <li>三つ編みの編み方を知り楽しんで編む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>七夕制作</li> <li>クッキーの入れ物作り（染め紙・三つ編み）</li> <li>誕生日プレゼント</li> </ul>	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>目や鼻、口などを自分で切り、貼り絵で鬼を作ることを楽しむ。</li> <li>豆まきを思い出して楽しんで描く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鬼のお面</li> <li>豆まきの絵</li> <li>園生活の絵</li> <li>誕生日プレゼント</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミの折り方を知り貼り絵を楽しむ。</li> <li>ウサギの折り方を知り、中秋の名月をイメージして貼り絵を楽しむ。</li> <li>自分のなわとびができあがることを楽しみに、最後まで根気よく取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミ</li> <li>お月見の絵（貼り絵）</li> <li>なわとび（三つ編み）</li> <li>誕生日プレゼント</li> </ul>	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>流しびなの風習を知り、ひとつひとつの作業（染め紙・着物を折る・顔を切る・のりづけ・貼り絵）に丁寧に取り組む。</li> <li>幼稚園で好きな遊びをしている自分の絵を描く。</li> <li>たくさんことができるようになった自分の手を意識して取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おひなさま</li> <li>誕生日プレゼント</li> <li>作品の表紙</li> <li>手型</li> <li>園生活の絵</li> <li>誕生日プレゼント</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が運動会をしている絵を描く。</li> <li>自分がもらった時のことを思い出して丁寧に作る。</li> <li>自分の描きたい場面を描く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動会プログラム表紙</li> <li>弟妹児・年少児へのプレゼント（冠）</li> <li>運動会・遠足の絵</li> <li>誕生日プレゼント</li> </ul>			



## ⑨ うた・手遊びについて

目的：園生活の中で自然と歌を口ずさみ、楽しい気持ちを共有する。

重要なポイント

- ・教員が季節や場面に応じた歌を常に口ずさむことで、歌を身近なものにする。
- ・日々の園生活の中で繰り返し歌うことで歌に親しみを持たせる。
- ・普段の保育の中ではピアノ伴奏に合わせるのではなく、教員や友だちの歌声に合わせて心地よく歌うようにする。

1 学期	うた ・おはようのうた ・帰りのうた ・はながらんらん ・チューリップ ・たんぼぼ ・せっけんさん ・クローバー ・食前のうた ・ことりのうた ・こいのぼり ・とまと ・きんたろう ・てるてるぼうず ・つばめ ・のりもの ・あじさい ・かたつむり ・かえるのうた ・あめこんこ ・プールのうた ・おほしさま ・たなばたさま ・うみ ・ひまわり ・アイスクリーム 手遊び ・むすんでひらいて ・グーチョキパー ・お庭のお花 ・小さなお庭 ・たけのこ ・雨 ・お弁当箱 ・あたまかたひざポン ・せんべい	2 学期	うた ・とんぼのめがね ・ばったみつけた ・りんごとみかん ・秋 ・雲さん ・まつぼっくり ・どんぐりころころ ・どんぐり ・もみじ ・くり ・ゆげのあさ ・たきび ・冬ごもり ・お正月 手遊び ・十五夜さんのもちつき ・おつきさま ・やきいもグーチーパー ・りんごもぎ ・おもちのうた	4 学期	うた ※1学期に加えて ・おてて ・あまだれポタン ・なみとかいがら 手遊び ・かなづちトントン	
			3 学期	うた ・こま ・たこのうた ・ちゅうちゅうねずみ ・ゆき ・まめまき ・つぼみ ・うぐいす ・うれしいひなまつり ・おひなさまのうた ・おわかれかいのうた ・春ですよ 手遊び ・しもばしら ・ごんべさんのあかちゃん ・メロンパン ・げんこつやまのたぬきさん ・いっぴきののねずみ ・きつね	5 学期	うた ※2学期に加えて ・月 ・うさぎ ・虫の声 ・きくのはな ・こどもはかせのこ 手遊び ・ずいずいずっころばし
					6 学期	うた ※3学期に加えて ・オーイ春 ・のびろのびろ ・はるかぜ 手遊び ・こどもとこどもがけんかして ・おとうさんがかけてきて
					7 学期	うた ※4学期に加えて ・うみのそこにはあおいうち ・誰かが星をみていた ・もえろもえろ ・静かな湖畔 ・少年ソーランしぶき 手遊び ・茶摘み
			8 学期	うた ※5学期に加えて ・おいもほり ・しあわせみのるまで ・山の子		
			9 学期	うた ※6学期に加えて ・花のうた ・はじめの一步 ・いちねんせいになったら		

## ⑩ 絵本・読み聞かせ・貸し出しについて

目的：絵本の世界に浸り、豊かな想像力を育む。

重要なポイント

(絵本・読み聞かせ)

- ・年少児では身近に感じられる生活感あふれるものや繰り返しの面白さが感じられるもの、年中児では物語性のある絵本や昔話等想像力に働きかけられるもの、年長児ではドラマチックな話の展開や言葉の面白さ、登場人物への共感等感受性を育むもの等、様々な絵本を与える。

(貸し出し)

- ・年中・年長児は自分で借りたい絵本を選び、持ち帰った絵本を保護者に読み聞かせをしてもらうことで、子どもと絵本の世界を楽しむ時間を持つ。

1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あかいぼうし ・まっててね ・がたんごとん ・くまとりすのおやつ ・くだもの</li> <li>・うさぎなにたべてるの ・ぼんだいすき ・ころころころ ・ここよここよ ・のせてのせて</li> <li>・ちょうちょくるかな ・だんごむしのおうち ・ぞうくんのさんぽ ・ねずみくんのチョコキ</li> <li>・ぞうくんのあめふりさんぽ ・ぞうくんのおおかぜさんぽ ・おおきなかめちいさなかめ</li> <li>・かめのひなたぼっこ ・かばくん ・かばくんのふね ・はっぱのおうち ・おべんとう</li> <li>・ちびっこかたつむり ・はけたよはけたよ ・きょうのおべんとうなんだろな</li> <li>・ながいはなでなににするの? ・かさかしてあげる ・こっこさんとあめふり ・これなーに</li> <li>・もこもこもこ ・たなばた ・ナナちゃんとササちゃん ・とてもとてもあつひ</li> <li>・たこらすとまいかちゃん ・たこらすとうみがめのおじいさん ・ひまわり ・しゅっぱつしんこう</li> <li>・なつですよ</li> </ul>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンテのなつやすみ ・ちいさなねこ ・おつきさまこんばんは ・おつきさまこっちむいて</li> <li>・おやすみなさいこっこさん ・チョウスケとおつきさま ・ぼくおつきさまとはなしたよ</li> <li>・どんどこどん ・あかくんでんしゃとはしる ・おでかけのまえに ・くんくんふんふん</li> <li>・つぎとまります ・もりのてぶくろ ・こならぼうやのぼうし ・くいしんぼうのもぐら</li> <li>・なっちゃんもついてこーい ・おちばシャクシャク ・どんぐりねこ ・あきですよ</li> <li>・おおきなあかいりんご ・りんごがたべたいねずみくん ・えんやりんごのき</li> <li>・ねずみのいもほり ・もりのおふろ ・にんじんとごぼうとだいこん ・ちいさなき</li> <li>・もわもわでたよ ・てんとうむしどこいくの ・ふゆですよ ・はらぺこじどうしゃいらっしゃい</li> <li>・あみものじょうずのいのししばあさん * 「おきていたこりす」</li> </ul>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なっちゃんのゆきうさぎ ・ゆきのひのポンテ ・ちょっとだけ ・だれのあしあと</li> <li>・あさえとちいさいいもうと ・しんせつなともだち ・あかいみみつけた</li> <li>・ぼくびょうきじゃないよ ・あやちゃんのうまれたひ ・まほうのえのぐ ・もりのなか</li> <li>・いもうとのにゆういん ・ばけくらべ ・まめのかぞえうた ・つららがぼーっとな</li> <li>・ねずみのおいしゃさま ・のろまなローラ ・あおくときいろちゃん ・はなをくんくん</li> <li>・ほとんほとんはなんのおと ・ジョンとあひる ・いたずらこねこ ・はいしゃへいくひ</li> <li>・はるですはるのおおそうじ ・はるですよ</li> </ul>
4 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしのワンピース ・ぐるんぱのようちえん ・はじめてのおつかい ・ぐりとぐらのえんそく</li> <li>・どろんこハリー ・ラチとらいおん ・いたずらこねこ ・ちいさなねこ ・ちびっこかたつむり</li> <li>・かさもっておむかえ ・あめのひのトランペット ・みずいろのながぐつ ・ちいさなきいろいかさ</li> <li>・きよだいなきよだいな ・3びきのやぎのがらがらどん ・ゆかいなかえる ・たなばた</li> <li>・うみべのハリー ・スイミー ・おじさんのかさ * 「ふたごのほし」 * 「せみのぼうけん」</li> </ul>

5 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>•めつきらもつきらどおんどおん</li> <li>•ほくおつきさまとはなしたよ</li> <li>•おつきさまってどんなあじ</li> <li>•つきのほうや</li> <li>•ガンピーさんのふなあそび</li> <li>•なみとび</li> <li>•おつきよちゃんとかっぱ</li> <li>•こぎつねきっこ</li> <li>うんどうかいのまき</li> <li>•かいじゅうたちのいるところ</li> <li>•おおきなおおきなおいも</li> <li>•こっさんのかかし</li> <li>•こならほうやのほうし</li> <li>•ありのごちそうなあに</li> <li>•きょうはなんのひ</li> <li>•いたずらきかんしゃちゅうちゅう</li> <li>•あおくときいろちゃん</li> <li>•かにむかし</li> <li>•ももいろのきりん</li> <li>•3びきのくま</li> <li>•にんじんとごぼうとだいこん</li> <li>•もりのなか</li> <li>•またもりへ</li> <li>•てぶくろ</li> <li>•7ひきのこやぎ</li> <li>•ねずみのすもう</li> <li>•だいふくもち</li> <li style="text-align: right;">*「もみじのトンネル」</li> </ul>
6 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ロボットカミイ</li> <li>•ゆきむすめ</li> <li>•おんちよろちよろ</li> <li>•こぶとりじいさん</li> <li>•おにたのほうし</li> <li>•だいくとおにろく</li> <li>•まめのかぞえうた</li> <li>•9ひきのおおに</li> <li>•ゆき、ゆき</li> <li>•ほくびょうきじゃないよ</li> <li>•もりのへなそうる</li> <li>•もりのひなまつり</li> <li>•ほとんぼんはなんのおと</li> <li>•ママおなががいたいよ</li> <li>•こすずめのほうけん</li> </ul>
7 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ろくべえまってるよ</li> <li>•おいしいのほうけん</li> <li>•くわずにようほう</li> <li>•ありがとうどういたしまして</li> <li>•くいしんぼうのはなこさん</li> <li>•うさぎのおうち</li> <li>•しろいうさぎとくろいうさぎ</li> <li>•かあさんわたしのことすき</li> <li>•ふしぎなたけのこ</li> <li>•トマト</li> <li>•かもさんおとおり</li> <li>•ありこのおつかい</li> <li>•ゆかいなかえる</li> <li>•おたまじゃくしの101ちゃん</li> <li>•つばめがはこんだみなみのたね</li> <li>•おじさんのかさ</li> <li>•おおきくなったらなにになるの？</li> <li>•ほうしのおうち</li> <li>•ちいさいおうち</li> <li>•たなばた</li> <li>•ざりがにのおうさままっかちん</li> <li>•おおきなもののすきなおうさま</li> <li>•ダンプえんちょうやっつけた</li> <li>•かえるくとけらくん</li> <li>•さかなはさかな</li> <li>*「てんぐとかっぱとかみなりどん」</li> <li>*「ふたごのほし」</li> <li>*「せみのほうけん」</li> </ul>
8 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>•うみべのハリー</li> <li>•おつきよちゃんとかっぱ</li> <li>•ほくおつきさまとはなしたよ</li> <li>•つきのほうや</li> <li>•ほしになったりゅうのきば</li> <li>•100まんびきのねこ</li> <li>•かかしのひみつ</li> <li>•さんびきのくま</li> <li>•しごとをとりかえたおやじさん</li> <li>•サリーのこけももつみ</li> <li>•エルマーのほうけん</li> <li>•エルマーとりゅう</li> <li>•さるとびつき</li> <li>•フレデリック</li> <li>•アレクサンダーとぜんまいねずみ</li> <li>•エルマーと16びきのりゅう</li> <li>•なないろやまのひみつ</li> <li>•スーホのしろいうま</li> <li>•くんちゃんのはたけしごと</li> <li>•かにむかし</li> <li>•かぜはどこへいくの</li> <li>•さつまいも</li> <li>•ほうさまのき</li> <li>•いろいろへんないろのはじまり</li> <li>•ちからたろう</li> <li>•モチモチの木</li> <li>•12のつきのおくりもの</li> <li style="text-align: right;">*「もみじのトンネル」</li> </ul>
9 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ふたりはいっしょ</li> <li>•ふたりはいつも</li> <li>•ふたりはなかよし</li> <li>•ふたりはともだち</li> <li>•しまひきおに</li> <li>•だいくとおにろく</li> <li>•おにたのほうし</li> <li>•ないたあかおに</li> <li>•ながいながいペンギンの話</li> <li>•もりのひなまつり</li> <li>•花咲き山</li> <li>•3びきのこぶた</li> <li style="text-align: center;">*「はるまでまっでごらん」</li> <li style="text-align: center;">*「たつのこたろう」</li> <li style="text-align: right;">*印は紙芝居</li> </ul>

## ⑪ 園生活における片づけ・整理整頓・掃除・手伝いについて

目的：生活において一人ひとりの子どもが自分のことは自分でできるようにする。自分だけでなくみんなのために働く喜びを味わえるようにする。

重要なポイント

(片づけ)

- ・習慣として身に付け、自発的に片づけができるように指導する。

(整理整頓)

- ・持ち物・鞆内・棚の整理整頓の仕方を教え、毎日繰り返し積み重ね、しっかりとその子の身に付くように働きかける。

(掃除)

- ・雑巾の洗い方・絞り方・干し方・洗濯ばさみの扱い方や拭き掃除の仕方等、発達に応じたねらいを設定し指導する。

(手伝い)

- ・仕事内容を理解させ、役割を自覚して取り組めるようにする。

	ねらい	内容
1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも決まった場所に自分の持ち物を片づけるようにする。</li> <li>・タオルを畳み、コップを袋に入れて鞆の中に片づけるようにする。</li> <li>・みんなで一緒にクラスの遊具を片づけるようにする。</li> <li>・片づけ方を知らせる。(同じ形のもの、同じ種類のもので分類すること、並べること、畳むこと)</li> <li>・落ちていた遊具に気づき、片づけるようにする。</li> <li>・自分が使った食器を片づけるようにする。</li> <li>・お弁当・給食後に自分の持ち物を鞆に片づけるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持ち物(靴・鞆・帽子・タオル)の整理整頓</li> <li>・室内遊具の片づけ</li> <li>・砂場道具の片づけ</li> <li>・お弁当・給食後の片づけ</li> <li>・鞆内の整理整頓</li> </ul>
2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年に年神様を迎えるにあたり、保育室をありがたいの気持ちを持って、担任が絞った雑巾で自分の椅子と棚を水拭きさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水拭き(大掃除)</li> </ul>
3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防寒着を畳んで棚に入れるようにする。</li> <li>・進級に向けて1年間ありがたいの気持ちと進級する喜びを感じながら、次に保育室を使う入園児のために、担任が絞った雑巾で自分の椅子と棚を水拭きするようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの整理</li> <li>・水拭き(掃除)</li> </ul>
4学期	<p>※年少児の整理整頓・片づけに加えて。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の道具類・カラー帽を整理して入れるようにする。</li> <li>・ハンガーに脱いだ制服をかけるようにする。</li> <li>・体操服を畳んで袋に入れるようにする。</li> <li>・制作で使ったクレヨンやのり等を片づけるようにする。</li> <li>・全ての遊具が元通りに片付いているか確かめ、所定の位置にない遊具があれば探すようにする。</li> <li>・園庭の砂場道具を洗って所定の位置に片づけるようにする。</li> <li>・棚を掃除してきれいになる心地よさを味合わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・棚の整理整頓</li> <li>・身の回りの整理整頓</li> <li>・制作道具の片づけ</li> <li>・室内遊具の片づけ</li> <li>・園庭の遊び道具の片づけ</li> <li>・棚の掃除</li> </ul>

5 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループの人数を把握し、担任から人数分の手紙を受け取り、グループの友だちに手渡すようにする。</li> <li>夏休みの大掃除で親子でした経験（有志）を経て、毎週土曜日に道具類・カラー帽の整理と自分の椅子と棚の水拭きするようにする。</li> <li>雑巾を自分で固くしぼれるようにする。</li> <li>水が飛ばないようにしゃがんで絞るようにさせる。</li> <li>洗濯バサミで雑巾を挟んでとめて干すようにする。</li> <li>新年に年神様を迎えるにあたり、ありがたいの気持ちを持って、自分の椅子と棚、遊具を水拭きするようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手紙を配る（手伝い）</li> <li>棚の整理</li> <li>水拭き（大掃除）</li> </ul>
6 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>進級に向けて1年間ありがたいの気持ちと進級する喜びを感じ、次に保育室を使う新年中児のために、自分の椅子と棚と遊具を水拭きするようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水拭き（掃除）</li> </ul>
7 学 期	<p>※年少・年中児の整理整頓・片づけに加えて。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担任の指示・声かけがなくても自分で片づけるようにする。</li> <li>自分で落ちている遊具に気づいて片づけるようにする。</li> <li>園庭の隅々まで見渡して片づけるようにする。</li> <li>グループの人数を把握し、担任から人数分の手紙を受け取り、グループの友だちに手渡すようにする。</li> <li>お手伝いをしたいという気持ちを持ち、みんなのために仕事をする喜びを味わえるようにする。</li> <li>エプロンを着て、友だちの給食を運び、小さなやかんでお茶を注ぎ、コップをお盆にのせて慎重に行動するようにさせる。</li> <li>自分の持ち物を整理整頓し、掃除をしてきれいになる心地よさを味合わせる。</li> <li>自分で汚れを探し、隅々まで丁寧に雑巾がけする。</li> <li>汚れが落ちているか確認しながら自分で雑巾を洗うようにする。</li> <li>休んでいる友だちの椅子や棚にも気付き、すすんで掃除する。</li> <li>自分の棚の中がきちんと整理整頓されていることを意識する。（上段が道具箱、下段が鞆と帽子）</li> <li>整理して入れることが気持ち良いと感じられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内遊具の片づけ</li> <li>園庭の遊び道具の片づけ</li> <li>手紙を配る（手伝い）</li> <li>給食の配膳（手伝い）</li> <li>棚の整理整頓</li> <li>水拭き（掃除）</li> </ul>
8 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>縄跳びは結んで棚に入れるようにする。</li> <li>新年に年神様を迎えるにあたり、ありがたいの気持ちを持って、自分の椅子と棚、遊具を水拭きするようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>棚の整理整頓</li> <li>水拭き（大掃除）</li> </ul>
9 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの経験の積み重ねから自主的に行動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>片づけ</li> <li>整理整頓</li> <li>掃除</li> </ul>

## 8. 保護者への働きかけについて

保護者と教員が子どもの成長を願う者として共通理解を深めることを目的としている。

直接的な働きかけとして、保護者と直接顔を合わせて話す個人懇談や懇談会等を行っており、本園の教育方針や教員の考えを直接伝えることができる場である。また、連絡帳においても紙面を通して、保護者と子どもの成長を考える機会としている。

間接的な働きかけとしては園だよりや学年だより等、数々の発信物において教育方針や教育内容が伝わるように具体的な子どもの姿を通して教員が感じた事や考えを文章で伝えている。

内 容	内容の説明
太陽と大地の会	園長と保護者が子どもの成長や子育て観等を話し合う場であり、参加者が自分自身を振り返り自分と向き合う場となっている。なるべく自然体で話ができるよう、月に2回（3、4月は月1回）設定し少人数での会にしている。
園長懇談	保護者からの要望に応じて面談あるいは電話相談を行っている。子どものこと、育児のこと、また保護者自身の悩み等を聞き、少しでも保護者の気持ちを軽くし、子育てを楽しめるように働きかけている。
クラス懇談会	月1回クラスごとに行っている。担任は保護者に本園の教育方針や教育内容がより伝わるよう、クラスの様子、保育のねらいや取り組みについて具体的な子どもの姿を交えて話している。
グループ懇談会	年中児保護者に1グループ（6名）ずつ自由遊びでの様子やクラスの子どもの関わりを参観してもらい、後日2グループ（12名）が集まり、参観で感じたことや家庭での過ごし方を話し合うことで教員と保護者が子どもへの理解を相互に深めていけるように努めている。
個人懇談	各学年共春に1度目の個人懇談を設け、年少・年長組は秋から冬にかけて2度目の個人懇談を行っている。園での子どもの様子等を伝え、保護者からは家庭での子どもの様子等を聞き、個人に合った具体的なアドバイスをするように努めている。また、個人懇談の期間でなくとも保護者からの要望がある時には時間を設け対応している。
連絡帳	連絡事項にとどまらず、家庭での子どもの姿や子育てのこと、子どものことを通じて感じたこと等、やり取りを通して担任と保護者が互いの思いや考え方を知り、子どもへの理解を深め、子ども観をより近いもの出来るよう努めている。
園だより	園長が年間約30号発行し、園の教育方針や子ども観を伝えている。本園の行事に対する考えや取り組み、あるいは各学年の発達の違いを踏まえた子どもの姿等を伝えることによって、幼児期の子どもの育ちの大切さにより目を向けてもらえるよう働きかけている。
学年だより	各学年の担任が、年少だよりは年間約17号、年中だよりは約20号、年長だよりは約25号発行している。連絡事項にとどまらず、教育内容や取り組みへのねらい、具体的な子どもの様子や子どもが経験したことを書くことで、学年の様子を伝え本園の教育方針や教育内容を理解してもらえるよう努めている。
通園だより	年間6～7号発行しており、本園の集団通園（電車、徒歩）における教育的意義や通園時において指導している交通ルールや、公共マナーを伝えている。家庭においても交通ルールや公共のマナーを意識してもらえるよう働きかけている。
食育だより	給食や弁当時の子どもの姿を通して教員の考えあるいは旬の食べ物、おやつとの与え方、日本の伝統文化（お月見、冬至、正月）の食に関すること等を題材に年間6～7号発行している。

<p>機関誌 「はぐくみ」</p>	<p>はぐくみの会（保護者会）と園が協賛で年4回（4月、7月、12月、3月）発行している。園からは、教育方針、教育内容、園長と各学年の担任の思いや考えを掲載している。はぐくみの会からは役員会・クラブ活動の報告、保護者から寄せられる原稿等を掲載している。</p>
<p>講演会</p>	<p>講演会は主に園が主催しており、保護者が自分自身のことを見つめ直すことによって子育てのヒントを得、悩みや心配事が解消されるきっかけになることを願って企画している。</p>
<p>保育参観</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自由遊びを参観（年少・年中組み）</li> <li>• リズム参観</li> <li>• 誕生日のお祝いと参観</li> <li>• 運動会参観</li> <li>• 休日参観</li> <li>• クラス全員で取り組むごっこ遊びの参観（年長組のみ）</li> </ul>	<p>参観は子どもたちがいつもと変わらず過ごせるように配慮し、学年によって参観者の人数や時期を考え設けている。気になる事や心配な事があれば参観後に保護者から担任に申し出てもらい、連絡帳や個人懇談を通して一緒に考える機会を設けている。</p> <p>年少組は11月から翌年1月に2名ずつ、年中組は11月から翌年1月に5、6名ずつ参観を設けている。</p> <p>年中児保護者には日常の生活の中で身体を動かす大切さを感じてもらうため、6月に参観を設けている。年長児保護者は個々の身体の動きや友だちと気持ちを合わせて取り組む動き、友だちを応援する姿等子どもの成長を感じてもらえるよう卒園前の3月に参観を設けている。</p> <p>一人ひとりの誕生日を大切に考え生まれた日にお祝いをしている。誕生日を迎えた園児に対して保護者1名に来園していただき朝の集まりからお祝いの後の自由遊びまで参観を設けている。</p> <p>10月中旬の平日に年少・年中児保護者は1日、年長児保護者は2日間の参観日を設けている。</p> <p>普段の登園日には来園できない保護者のために休日に参観日を設け、園生活を知ってもらい、生活面や友だちとの関わりを通して子どもの成長を感じてもらう機会としている。</p> <p>年長組のクラス全員の取り組みとして「おみせやさんごっこ」を行っている。年長児保護者はおみせやさんごっこに参加し、子どもとのやり取りを通してごっこ遊びの世界を感じてもらいと共に、子どもの成長の姿を知る機会となっている。</p>

## 9. 幼稚園教育要領の5領域との関連

幼稚園における生活の全体を通して、子どもたちが様々な経験を積み重ね成長する時、健康・人間関係・環境・言葉・表現、各領域が個別化して存在するのではなく、多数の領域内容が含まれた教育内容であるべきであると考えます。そこで、各領域に示されている内容と本園の主な教育内容を一覧表にすることで、合致している点を明らかにした。これによって、子どもへの総合的な指導に留意することを意識しつつ、更に本園の教育内容を工夫や改良することができる。

	室内遊び	戸外遊び	朝・帰りの集まり	誕生日のお祝い	安全教育		食育 おやつ作り・給食弁当	リズム運動	グループ遊び・体育的な遊び プール遊び・わらべ歌遊び・	制作活動			絵本の読み聞かせ 絵本貸出し うた・手遊び	自然環境		生活		四季の行事	留学生との交流	楽しんでい		
					通園	避難訓練				ぬらし絵	絵画制作 プレゼント作り	なわとび		鯉のぼり・マフラ!	園内散策	チューリップの球根植え	小鳥・かも当番				手洗い・掃除・ 片付け・整理整頓	
																						人形劇
友達と触れ合い、安心感をもつ	●	●					●						●	●	●							
遊びの中で十分に体を動かす		●						●														
進んで戸外で遊ぶ		●						●												●	●	
様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
食べることを楽しむ							●													●	●	
生活のリズムを身に付ける			●				●														●	
身の回りを清潔にし衣服の着脱、食事、排泄などを自分でする							●														●	
園生活の仕方を知る	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
見通しをもって行動する	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
病気の予防に必要な活動を行う			●				●														●	
危険な場所・遊び方がわかる	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
災害時の行動の仕方がわかる						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
安全に気を付けて行動する	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
共に過ごす喜びを味わう	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
自分で考え、自分で行動する	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
自分でできることは自分でする	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
やり遂げようとする気持ちをもつ	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
喜び・悲しみを共感し合う	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
思ったことを相手に伝える	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
相手の思っていることに気付く	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
友達のよさに気付く	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
友達と楽しく活動する中で共通の目的を見出す	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
友達と楽しく活動する中で工夫したり協力したりする	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
よいこと、悪いことに気付く	●	●	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
かかわりを深め思いやりをもつ	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
きまりの大切さに気付き、守る	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
遊具・用具を大切にみんなで使う	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
いろいろな人に親しみもつ				●	●															●	●	●



	室内遊び	戸外遊び	朝・帰りの集まり	誕生日のお祝い	安全教育		食育 おやつ作り・給食弁当	リズム運動	グループ遊び・体育的な遊び プール遊び・わらべ歌遊び・	制作活動			絵本の読み聞かせ	絵本貸出し うた・手遊び	自然環境		生活		四季の行事	留学生との交流	楽しんで遊ぶ		
					通園	避難訓練				鯉のぼり・マフラール なわとび 絵画制作 プレゼント作り ぬらし絵	人形劇	園内散策			チューリップの球根植え 小鳥・かも当番	手伝い・掃除・ 片付け・整理整頓							
環 境	自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さに気付く	●			●										●				●				
	物の性質や仕組みに興味をもつ	●	●				●			●					●		●				●		
	季節による生活の変化を知る	●	●		●	●	●	●			●		●		●	●			●				
	自然を取り入れて遊ぶ		●												●								
	生命の尊さに気付き、いたわる		●		●										●	●							
	物を大切に使う	●	●							●		●	●		●		●					●	
	考えたり試したり工夫して遊ぶ	●	●							●					●								
	数量、図形に関心をもつ	●	●		●			●											●				
	標識や文字に関心をもつ					●							●									●	
	生活の情報や施設に興味をもつ					●	●		●														
国旗に親しむ																					●		
言 葉	聞いたり、話したりする	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	したり、見たり、聞いたりしたことを自分なりに言葉で表現する	●	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	感じたり、考えたりしたことを自分なりに言葉で表現する	●	●	●	●	●			●	●	●				●	●	●				●	●	
	要求、希望を言葉で表現する	●	●	●		●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	分からないことを尋ねる	●	●	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	分かるように話す	●	●	●		●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	生活の中の言葉を理解して使う	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	挨拶をする			●	●	●			●	●	●											●	●
	言葉の楽しさ・美しさに気付く			●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする	●	●		●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
絵本、物語に親しむ			●								●	●											
想像する楽しさを味わう	●	●	●	●							●	●	●								●		
文字などで伝える楽しさを味わう																		●					
表 現	音、色、形、手触り、動きなどに気付き、感じる	●	●				●			●	●		●	●	●	●	●			●		●	
	心を動かす出来事に触れる	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	
	イメージを豊かにする	●	●	●	●					●	●	●	●							●	●	●	
	感動したことを伝え合う	●	●	●						●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	
	音や動きで表現							●					●										
	自由にかく、つくる	●	●				●			●	●												
	いろいろな素材に親しむ	●	●				●			●	●												
	飾ったり、工夫して遊ぶ	●	●					●		●	●											●	
	歌ったり、リズム楽器を使って楽しさを味わう				●				●					●									●
	演じて遊ぶ楽しさを味わう	●	●						●														

## 10. 発達段階に合わせた到達目標 確認シートについて

活動内容における子どもの姿を、子どもの成長発達段階と私たちの子ども観を合わせたもので到達目標を設定した。これによって子どもの心身の状態を評価するものではない。

様々な観点から子どもの特徴や個性を把握し、個々の理解を深め、指導の方向性をつかむものとして役立てるために作成した。

### 確認シート I

<p>〈室内遊びに関すること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遊具を大切に使える</li> <li>一人遊びができる</li> <li>友だちと一緒に遊べる</li> <li>友だちを誘って遊べる</li> <li>自分から友だちの中に「入れて」と言って入っている</li> <li>遊具を「貸して」と言える</li> <li>遊具の貸し借りができる</li> <li>集中して遊べる</li> <li>工夫して遊べる</li> <li>想像力や創造力を働かせて遊べる</li> <li>友だちとイメージを共有して遊べる</li> <li>片付けができる</li> </ul>	<p>〈集団遊びに関すること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指示に従って遊べる</li> <li>ルールを守って遊べる</li> <li>みんなと一緒に楽しめる</li> <li>自分の役割を理解して遊べる</li> </ul> <p>〈プール遊びに関すること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水の中で立てる</li> <li>水の中を歩ける</li> <li>水を怖がらずに水遊びを楽しめる</li> <li>顔つけができる</li> <li>伏し浮きができる</li> <li>泳ぐことができる</li> <li>安全に注意できる</li> </ul>
<p>〈戸外遊びに関すること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>滑り台が滑れる</li> <li>ジャングルジムで遊べる</li> <li>うんていができる</li> <li>砂遊びを楽しめる</li> <li>泥んこ遊びを楽しめる</li> <li>土山での遊びを楽しめる</li> <li>土や泥んこの感触を楽しめる</li> <li>汚れることを気にせず遊べる</li> <li>プリンやケーキを工夫して作れる</li> <li>泥団子が作れる</li> <li>山登りの遊具や丸木橋、タイヤなどで遊べる</li> <li>友だちと一緒に遊べる</li> <li>遊具を友だちと分け合って使える</li> <li>土や水を使い友だちと工夫や協力をして遊べる</li> <li>なわとびに興味がある</li> <li>なわとびができる</li> <li>まり遊びに興味がある</li> <li>まりつきができる</li> <li>竹ぼっくりに興味がある</li> <li>竹ぼっくりができる</li> <li>竹馬に興味がある</li> <li>竹馬ができる</li> </ul>	<p>〈クラスでの集まりに関すること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>椅子に座れる</li> <li>正しい姿勢で椅子に座れる</li> <li>椅子に座って教師の話が最後まで聞ける</li> <li>椅子に座って友だちの話が聞ける</li> <li>話をしている人の顔を見て聞ける</li> <li>自分の話したいことが話せる</li> <li>自分が見たこと聞いたことを話せる</li> <li>話す順番を待てる</li> <li>話題に合った話ができる</li> <li>教師の話を理解して行動できる</li> </ul> <p>〈徒歩・電車通園に関すること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手をつないで並んで歩ける</li> <li>手をつなぐ順番が覚えられる</li> <li>暑さ、寒さに負けずしっかり歩ける</li> <li>前との間があいたらつめることができる</li> <li>階段の昇り降りができる</li> <li>指示に従える</li> <li>集合場所で静かに待てる</li> <li>駅のホームで静かに待てる</li> <li>電車の乗り降りに注意を払える</li> <li>車内で静かにできる</li> <li>危険なことがわかり、安全な行動をとれる</li> </ul>

<p>鉄棒に興味がある 鉄棒ができる 集団遊びに興味がある 虫に興味がある 虫を捕まえることができる 草花を使って遊ぶことに興味がある 片付けができる 安全に気を配り遊べる</p>	<p>公共のマナーを守れる 交通のルールを守れる</p>
<p>〈身の回りのこと、習慣に関すること〉 靴の着脱</p>	<p>〈言葉に関すること〉 一語文・二語文である 相手にわかる言葉が話せる 会話が成立する 相手の目を見て会話ができる 自分の体験を話せる 自分の気持ちを話せる 人の話が理解できる 困ったことがあれば教師に言える</p>
<p>・靴を自分で履ける ・靴を左右正しく履ける ・靴を立ったままで履ける 帽子の着脱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帽子を自分でかぶれる</li> <li>・帽子を前後正しくかぶれる</li> </ul> <p>通園かばんの着脱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通園かばんを自分で背負える</li> <li>・通園かばんの開け閉めができる</li> </ul> <p>持ち物の始末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・靴を靴箱に入れる</li> <li>・通園かばん・帽子を棚に入れる</li> <li>・タオル・絵本袋・上靴袋を所定の場所におく</li> <li>・コップ、歯ブラシ、お弁当箱を袋に片付ける</li> <li>・出席ノートの出し入れができる</li> <li>・連絡物を提出する</li> </ul> <p>手洗い・うがい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道の蛇口を開け閉めできる</li> <li>・手洗いができる</li> <li>・口をゆすげる</li> <li>・うがいができる</li> </ul> <p>歯磨きができる</p> <p>トイレ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙パンツ・トレーニングパンツを使用している</li> <li>・尿意や便意の意思表示ができる</li> <li>・自分でトイレに行ける</li> <li>・パンツを脱がずに用をたせる</li> <li>・大小便の後始末ができる</li> </ul> <p>着替える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンツの着替えができる</li> <li>・下着の着替えができる</li> </ul> <p>よく噛んで食べている 何でも食べようとしている 口の中の物が無くなってから話しをしている 最後まできれいに食べようとしている 食べ終えた食器を片付けられる</p>	<p>〈あいさつに関すること〉 声かけに対応できる 自分からあいさつができる 相手の顔（目）を見てあいさつができる 後ろなど相手が気付かずとも自分からあいさつができる</p>

## 確認シート II

<p>〈歌に関すること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どなり声にならず歌える</li> <li>みんなと一緒に歌える</li> <li>ピアノに合わせて歌える</li> <li>ひとりでも歌える</li> <li>声の音量や出し方を自分でコントロールできる</li> </ul>	<p>〈こま回しに関すること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こま回しに興味がある</li> <li>自分でひもを巻ける</li> <li>回せるようになるまで何回も繰り返しあきらめずに取り組める</li> <li>友だちに教えることができる</li> <li>友だちと一緒にこま回しを楽しめる</li> </ul>
<p>〈制作に関すること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クレヨンを使える</li> <li>のりの量を加減して使える</li> <li>はさみを使える</li> <li>はさみをコントロールできる</li> <li>道具を大切にできる</li> <li>折り紙の角を合わせて、しっかり折り目が付けられる</li> <li>指示を理解し、制作ができる</li> <li>のり、はさみ、クレヨンなどを使い、自分のイメージ通りのものが作れる</li> </ul>	<p>〈誕生日のお祝いに関すること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の誕生日を楽しみに待てる</li> <li>誕生日を迎えた喜びを素直に表現できる</li> <li>友だちの誕生日のお祝いを楽しみにできる</li> <li>友だちの誕生日をクラスのみならず一緒に祝うことができる</li> <li>誕生日の喜びを感じることができる</li> <li>お祝いのお話を聞ける</li> <li>誕生までの話を静かに聞ける</li> <li>天使の役割を理解し、その役目を果たそうとする（年長のみ）</li> </ul>
<p>〈ぬらし絵に関すること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色に興味を持って楽しめる</li> <li>筆を丁寧に扱える</li> <li>筆を洗う・拭く・容器に戻すという手順が理解できる</li> <li>絵具の量を加減できる</li> </ul>	<p>〈誕生日のプレゼント制作に関すること〉</p> <p style="text-align: right;">……年中・年長のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼント制作に喜びを感じることができる</li> <li>自分でプレゼントしたいものを考え工夫して制作できる</li> <li>制作に応じてはさみやのりなどを積極的に使用できる</li> <li>友だちの制作に興味や関心を持てる</li> </ul>
<p>〈人形劇・絵本に関すること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>座って見ることができる</li> <li>興味を持って話を聞ける</li> <li>集中して見ることができる</li> <li>同じお話を何度も楽しめる</li> <li>想像力を働かせ話を楽しめる</li> </ul>	<p>〈鯉のぼり作りに関すること〉 ……年長のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一つ一つの過程を理解し丁寧に作り上げていくことができる</li> <li>・はさみを使って布を切れる</li> <li>・絞り染めをするための輪ゴムをかけることができる</li> <li>・安全に注意しながらアイロンがけができる</li> <li>・針と糸を使って縫える</li> <li>自分から積極的に鯉のぼり作りに関わるができる</li> <li>みんなで一緒にひとつのものを作り上げる喜びを感じることができる</li> </ul>
<p>〈リズム運動に関すること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動に興味を持って取り組める</li> <li>ピアノに合わせて体を動かせる</li> <li>友だちの動きを見ることができる</li> <li>特別に弱い動きがある</li> <li>リズムカルにケンケンパーができる</li> <li>スキップができる</li> <li>縄跳びで両足跳びができる</li> <li>縄跳びで走り跳びができる</li> <li>大縄跳びのくぐり抜けができる</li> <li>大縄跳びを跳べる</li> <li>歌に合わせてまりつきができる</li> <li>友だちとテンポを合わせる動きを楽しめる</li> </ul>	

**〈給食のお手伝いに関すること〉……年長のみ**

給食のお手伝いの仕事を楽しみにできる  
食器を丁寧に扱える  
ご飯やおかず、お茶をお盆に載せて運べる  
小さなやかんで適量のお茶をコップに注げる  
配膳の時に数の把握ができる

**〈おやつ作りに関すること〉……年長のみ**

みんなで一緒におやつ作りを楽しめる  
みんなで作って食べる喜びを感じることができる  
幼稚園みんなの分のおやつを作っていることを意識できる  
小さい子どもたちが楽しみに待っていることを思い描くことができる  
小さい子どもたちに届ける嬉しさを感じることができる  
材料や作り方に興味を持ち取り組める

**〈小鳥・かも・うさぎ当番に関すること〉……年長のみ**

当番活動を楽しみに待ち積極的に取り組める  
小鳥・かも・うさぎなどに興味を持ち、積極的に関わることができる  
小鳥小屋に入って小鳥やうさぎとの触れ合いを楽しめる  
かものえさ作りに興味を持ち、小型ナイフで野菜を小さく切れる

**〈なわとび作りに関すること〉……年長のみ**

三つ編の編み方を理解している  
意欲的になわとび作りに取り組める  
根気強く集中して編める  
手足の協応動作で編める  
自分のペースで見通しを持って編める  
友だちのなわとび作りに関心を持ち手助けすることができる  
友だちに教えることができる

**〈マフラー作りに関すること〉……年長のみ**

指編みの編み方を理解している  
意欲的にマフラー作りに取り組める  
友だちのマフラー作りに関心を持てる  
友だちと一緒に楽しくマフラー作りに取り組める  
友だちに教えることができる

## 確認シート Ⅲ

〈日常生活に関すること〉	
表 現	<p>自分の気持ちを行動で表現する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泣く    ・嘔む    ・つねる    ・爪を立てる    ・叩く    ・蹴る</li> <li>・物を投げる</li> <li>・拗ねる</li> <li>・暴れる</li> </ul> <p>自分の気持ちを言葉で表現することができる  自分の気持ちをどのような方法でも表現できない  自己主張ができる    ・自己主張が強い  笑顔が多い  不満げな表情であることが多い  喜怒哀楽が表現できる    ・喜怒哀楽が激しい  物言いがきつい    ・物言いが優しい、おだやか  「嫌だ・やめて」が言えない  些細なことで怒る  声が特別大きい（怒鳴るように）  奇声を発する</p>
気 持 ち	<p>自分で気持ちの切り替えができる    ・気持ちの切り替えができない  教師や友だちの働きかけで気持ちを切り替えることができる  必要以上に物に執着する  挨拶や感謝の言葉を自然と口にする    ・喜べる  周りの状況を見ることができ    ・周りの状況を感じ、自分の言動をコントロールできない  大人に頼らず何でも自分で取り組める  我慢できる    ・我慢できない</p>
言 葉	<p>オウム返し    ・言葉に遅れがある  吃音がみられる  語彙が豊富である  大人のような表現をする  年齢にあった表現をする    ・「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言える</p>
行 動	<p>座ってられない    ・落ち着きがない    ・安全に行動しようとする  部屋を走り回る  好き勝手な行動をとる  人や物に八つ当たりをする  自分の物と人のものが区別できる    ・物を隠す  自分の考えなしに人の行動をまねる  悪ふざけをする  興味を持って見ようとする    ・耳を澄まして聞こうとする  クラスのみなどと一緒に行動ができる  友だちと協力して遊びや仕事をする    ・ことができる  場をわきまえた行動がとれる</p>

<p>関 係</p>	<p>自分の気持ちを出せない  友だちの声に耳を傾けない      • 友だちが嫌がっていることがわからない  周りへの関心が薄い  自分から友だちに関わるのが少ない  友だちともめることが多い  友だちに優しくできる  だれとでもすぐに打ち解けられる  決められたルールが守れる  身近なひとに信頼を寄せ友好的な接し方ができる  友だちに気持ちを伝えられる  困ったことがあると友だちや教師に伝えることができる  友だちの主張に耳を貸すことができる  友だちが泣いたり困っている時には助けようとする姿が見られる  友だちをからかう  人の失敗を笑う  ごまかす  友だちとの関わりより大人との関わりを好む  小さい子のお世話ができる</p>
<p>性 格</p>	<p>無邪気である  気分むらがある  依頼心が強い  すぐに打ち解けられる  慣れるのに時間がかかる  積極的である  引っ込み思案である  素直である  必要以上に大人の目を意識する</p>

## 11. 小学校へのつながりについて

小学校の学習と幼稚園の遊びを関連づけるために、文部科学省による小学校学習指導要領と園の教育内容（室内・戸外での自由遊びと一斉保育、行事の取り組み、園生活全般）を照らし合わせてみたところ、あらゆる教育内容の中に小学校の学習への繋がりを確認することができた。園の遊びを深めることで小学校の学習への関連性を持たせることができると考える。

教育内容	活 動	教 科
① 室内での自由遊びにおいて	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちや教員の話聞く。</li> <li>友だちや教員の話聞いて理解する。</li> <li>自分の思ったことや、やりたいことを話す。</li> <li>想像したことを言葉で表現する。</li> <li>友だちの気持ちを想像する。</li> <li>友だちと意見を出し合って、遊びを展開する。</li> </ul>	国語
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものの個数や順番を正しく数える。</li> <li>三角柱や立方体の積み木を組み合わせて、いろいろな形を作る。</li> <li>積み上げた積み木の高さや遊具の量を比較する。</li> </ul>	算数
	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の伝統的な遊び（こま回し、あやとり、お手玉）に親しみ、楽しむ。</li> </ul>	社会
	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角柱や立方体の積み木を組み合わせて、想像したものに見立てて表現する。</li> <li>並べたり、つないだり、積んだりする等全体を動かしてつくる。</li> <li>遊具を使って、想像し、工夫して遊ぶ。</li> </ul>	図画工作
	<ul style="list-style-type: none"> <li>母親の家事を模倣する。</li> <li>家族の役割になりきる。</li> <li>布に親しみを持つ。</li> <li>手作りのものに親しみや温かみを感じる。</li> </ul>	家庭
	<ul style="list-style-type: none"> <li>場所や遊具を譲り合う。</li> <li>けんかをして仲直りをする。</li> <li>友だちと関わって一緒に遊ぶ。</li> <li>互いの気持ちを伝え合い、認め合う。</li> <li>約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にする。</li> <li>自分のやりたいことを見つけて、自主的に行動する。</li> <li>友だちと協力し、役割分担をする。</li> <li>気持ちに折り合いをつける。</li> </ul>	道徳
② 戸外での自由遊びにおいて	<ul style="list-style-type: none"> <li>縄跳び、竹ぼっくり、一本下駄、竹馬、まり、丸太橋、鉄棒、山登り、タイヤとび等を使って遊び、バランス感覚を養う。</li> <li>山登り・タイヤ・丸木橋等の固定遊具では順番やルールを守り、安全に気を付けて遊ぶ。</li> </ul>	体育
	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員に見守られていることを感じながら、楽しく安心して遊ぶ。</li> <li>落葉、花びら、木の実を見つけて遊ぶ。</li> <li>松葉すもう、カラスノエンドウの笛、シロツメ草の冠、タンポポの首飾り等、身近な自然を利用して遊ぶ。</li> </ul>	生活
	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。</li> </ul>	道徳



② 戸外での自由遊びにおいて	<ul style="list-style-type: none"> <li>場所や遊具を譲り合う。</li> <li>けんかをしてもし仲直りをする。</li> <li>友だちと関わって一緒に遊ぶ。</li> <li>互いの気持ちを伝え合い、認め合う。</li> <li>約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にする。</li> <li>自分のやりたいことを見つけて、自主的に行動する。</li> <li>友だちと協力、役割分担をする。 ・気持ちに折り合いをつける。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>山、川、海、ダム、泥だんご等を工夫して作る。</li> <li>泥あそびを通して、泥や水の感触を味わう。</li> <li>土や水、自然と関わりながら遊ぶ。</li> <li>土や水を運ぶことで、重さを感じる。</li> <li>日光が当たるところは明るく暖かく、陰のところは暗く涼しいことに気づく。</li> <li>昆虫や植物に親しむ。</li> <li>季節によって、植物の変化（若葉、紅葉、落葉など）があることに気づく。</li> <li>季節ごとの動物の活動（冬眠など）があることを知る。</li> <li>地面を流れる水の様子を観察する。</li> <li>水は高いところから低いところへ流れることを知る。</li> <li>流れる水と一緒に、石や砂などが流れていることに気づく。</li> <li>天気の変化に気づく。</li> <li>雲の動きに興味を持つ。</li> </ul>	理科		
③ 室内での一斉保育において	ア. 朝の集まり・帰りの集まり	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面に合わせた挨拶をする。</li> <li>集まりの時間になったら静かにして話を聞く。</li> <li>姿勢を正して話を聞く。</li> <li>教員や友だちの話に興味を持って聞く。</li> <li>自分の体験したことや思ったこと、感じたことを話す。</li> <li>話題に合った話をする。</li> <li>声の大きさや速さなどに気を付けて、友だちに聞こえる声の大きさと話す。</li> </ul>	国語	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>季節の歌や手遊びなどを通して友だちと一緒に歌う楽しさを味わう。</li> <li>範唱を聴いて歌ったり暗唱する。</li> <li>歌詞の表す情景や気持ちを想像する。</li> <li>発音に気を付けて歌う。</li> <li>互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う。</li> </ul>	音楽	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>天気の変化に気づく。</li> <li>月の満ち欠けに興味を持つ。</li> </ul>	理科	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者、教員、事務職員、用務員など園生活を支えている人々や友だちのことが分かり、感謝の気持ちを持ち、楽しく安心して過ごす。</li> </ul>	生活	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作を心掛ける。</li> <li>世話になっている人々に感謝する。</li> <li>健康や安全に気を付け、規則正しい生活が大切だということを知る。</li> </ul>	道徳	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>健康によい生活について知る。</li> <li>毎日を健康に過ごすには、食事、運動、睡眠が大切であることを知る。</li> </ul>	体育	
		イ. お誕生日のお祝い	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が生まれたときの話や小さかったときの話を親から聞くことにより、自分が祝福されて生まれたこと、多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと、大切に育てられてきたこと、自分でできるようになったことなどが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持つ。</li> </ul>	生活
			<ul style="list-style-type: none"> <li>人は、母体内で成長して生まれることを知る。</li> </ul>	理科

③ 室内での一斉保育において

イ. お誕生日		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の成長を知り、家庭生活と家族の大切さに気付く。</li> </ul>	家庭
		<ul style="list-style-type: none"> <li>日ごろ世話になっている人々に感謝する。</li> <li>生きることを喜び、生命を大切に持つ心を持つ。</li> </ul>	道徳
		<ul style="list-style-type: none"> <li>おめでとうの気持ちを込めて、自然な声で歌う。</li> </ul>	音楽
ウ. リズム運動		<ul style="list-style-type: none"> <li>一つ一つの動きのポイントを意識し、バランス感覚、敏捷性を身につける。</li> <li>柔軟性を養う。</li> <li>走る、跳ぶ、静止する。</li> <li>なわとびを跳ぶ。</li> <li>ピアノに合わせて体を動かす楽しさや心地よさを味わう。</li> <li>体の基本的な動きができるようにする。</li> <li>きまりを守り楽しく運動する。</li> </ul>	体育
		<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちを応援し励まし認める。</li> <li>混合保育でのリズム運動は、年長児は年中児に対して自信や誇りをもって運動し、年中児は年長児に対して憧れ、真似をしたいという気持ちで運動する。</li> </ul>	道徳
エ. 歌遊び・わらべうた遊び・歌		<ul style="list-style-type: none"> <li>季節の歌や手遊びなどを通して友だちと一緒に歌う楽しさを味わう。</li> <li>歌に合わせて体や手を心地よく動かす。</li> <li>範唱を聴いて歌ったり暗唱する。</li> <li>歌詞の表す情景や気持ちを想像する。</li> <li>発音に気を付けて歌う。</li> <li>互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う。</li> <li>わらべうたや歌遊び等に親しみ、身体反応の快さを感じ取る。</li> <li>音楽に合わせて、楽しく動くことでリズム感を身につける。</li> <li>みんなと一緒に楽しく歌い、動くことで一体感を持ち、楽しさを共有する協調性や社会性を身につける。</li> </ul>	音楽
オ. 制作活動 (ぬらし絵・プレゼント作り・マフラー作り、色水遊び、みつろう粘土)	ぬらし絵	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆、絵の具の使い方がわかる。</li> <li>自由に表現する。</li> <li>3色の交わりを楽しみ、色が変わることを知る。</li> <li>色の交わりを楽しみ、想像する。</li> </ul>	図画工作
	こいのぼり作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>絞り染めをする。</li> <li>布に色を塗る。</li> </ul>	図画工作
		<ul style="list-style-type: none"> <li>布を裁断する。</li> <li>布を洗う、干す、アイロンがけをする、裁縫をする。</li> </ul>	家庭
	みつろう粘土	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主的・意欲的に取り組み、達成感や自信を持つ。</li> <li>クラスでの取り組みのため、協力して完成させた達成感を味わい、クラスの一体感を深める。</li> </ul>	道徳
	プレゼント作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>手で感触を味わう。</li> <li>形を捉え、イメージを持つ。</li> </ul>	図画工作
		<ul style="list-style-type: none"> <li>教員の話聞いて、作り方を理解し、指示通りの手順で行動する。</li> </ul>	国語
<ul style="list-style-type: none"> <li>ものの個数を正しく数える。</li> </ul>		算数	
<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな色を選んだり、いろいろな形をつくって楽しむ。</li> <li>用具(のり、はさみ、クレヨン等)の使い方がわかる。</li> </ul>		図画工作	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちへの気持ちを込めて作る。</li> <li>友だちが作ったものも大切にする。</li> </ul>	道徳	

③ 室内での一斉保育において

オ. 制作活動 (ぬらし絵・プレゼント作り・ 縄跳び作り・マフラー作り、 色水遊び、みつろう粘土)	縄跳び作り	• 手足を協応させる。	体育
		• 三つ編みの編み方がわかる。	家庭
	縄跳び作り	• 遊びに使うものを自分で作る。	生活
		• 根気よく最後までやり遂げる。 • 集中力を持続させる。 • 自主的・意欲的に取り組み、達成感や自信を持つ。	道徳
		絵画制作	• 楽しくのびのびと描く。 • 自由に表現する。 • 自分たちが作ったものを楽しく見る。
	• 自分が描いた絵を言葉で表現する。		国語
	マフラー作り	• 指先を細やかに動かす。	体育
		• 指編みの編み方がわかる。 • 身につける物を自分で作り、愛着を持つ。	家庭
		• 根気よく最後までやり遂げる。 • 集中力を持続させる。 • 自主的・意欲的に取り組み、達成感や自信を持つ。	道徳
	色水遊び	• 粉絵の具が水に溶ける様子を見る。	理科
• 色が混ざり合って、新しい色ができる様子を楽しむ。		図画工作	
カ. 絵本の読み聞かせ・人形劇	• 物語の読み聞かせを聞いて、演じる。 • 感じたことを言葉で表現する。 • 季節に合った題材を通して、季節を感じ、物語を想像し、話を聞く力を身につける。 • 想像力を働かせ、心豊かな感性を持つ。 • 様々な絵本に触れ合い、お話の世界を楽しむことで豊かな想像力を身につける。	国語	
キ. 絵本の貸し出し (年中・年長)	• 絵本に興味を持ち、親しむ。 • 自分の借りたい絵本を選択する。	国語	
ク. おやつ作り (年長)	• おやつ作りを経験することでクッキーが出来上がる過程を知る。 • 全園児と園の教職員の分のおやつを作ることを喜ぶ。 • 年少児、年中児は食べることを楽しみにし、おやつ作りへの興味や関心を持つ。 • みんなで食べる楽しさを感じる。	家庭	
	• 年下の子や身近な人に届けることを楽しみにし、喜びを感じる。 • 年少児、年中児は、年長児への憧れの気持ちを持つ。 • 作ってくれる人への感謝の気持ちを持つ。	道徳	
	• クッキーの数に関心を持たせる。(夏の夜のつどいのおみやげ) • クッキーの形や大きさの違いに気づく。	算数	
	• 年少児、年中児に届けることで言葉を伝える表現力を身につける。	国語	
	• いろいろな形を作って楽しむ。	図画工作	
ケ. 手伝い掃除・給食	掃除	• 整理・整頓をし、綺麗になる心地よさを感じる。 • 雑巾を絞り、拭き掃除をする。洗って干す。 • みんなのために仕事をする喜びを味わう。	家庭

④ 戸外での一斉保育において	ケ. 手伝い（掃除・給食）	掃除	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなのために働く。</li> <li>自分がやらなければならないことは、しっかりと行う。</li> </ul>	道徳
			<ul style="list-style-type: none"> <li>掃除の日に自分の持ち物を整理整頓することで、自分の物を把握し、持ち物や遊具を大切にすることを心がける。</li> </ul>	生活
		給食	<ul style="list-style-type: none"> <li>エプロンをつけて配膳する（ご飯、おかず、お茶）。</li> </ul>	家庭
			<ul style="list-style-type: none"> <li>配膳する人数を把握する。</li> </ul>	算数
			<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなのために働く。</li> <li>自分がやらなければならないことは、しっかりと行う。</li> </ul>	道徳
	ア. 集団遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>へびじゃんけん、ドッジボールを楽しむ。</li> <li>クラス全員でひとつのことを共感し楽しむ。</li> <li>鬼遊びでは、一定の区域で、逃げる、追いかける等をする。</li> <li>勝敗を受け入れる。</li> <li>ルールを守って楽しく運動する。</li> <li>ボールに親しむ。</li> <li>子どもたちだけで楽しめるようになり、協調性、社会性を身につける。</li> <li>友だちと共感し合う。</li> </ul>	体育	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちとの関わりを深める。</li> </ul>	道徳	
	イ. 体育的な遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育遊びや集団遊びを楽しむ。</li> <li>ピアノや歌に合わせて体を動かす楽しさや心地よさを味わう。</li> <li>身体を動かす楽しさや心地よさを感じる。</li> <li>縄跳びや大縄跳び、丸太橋を使い、全身を使ってバランス感覚を養う。</li> <li>ルールを理解しみんなと力を合わせる楽しさを感じる。</li> <li>意欲を持ち、諦めずにやり抜く。</li> <li>友だちと一緒に頑張り、応援することの大切さに気付く。</li> <li>かけっこ、玉入れ、大玉転がし、綱引き、リレーはルールを守り、クラスで力を合わせる楽しさや最後まで諦めない気持ちを持ち、友だちと楽しさを共有する。</li> <li>友だちと力を合わせる競技の楽しさを感じる。</li> </ul>	体育	
	ウ. プール遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>水に親しみ、水遊びを楽しむ。</li> <li>水の中で身体を動かすことの心地良さを感じる。</li> <li>ルールを守り、安全に気を付ける。</li> </ul>	体育	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>衣服をたたむ。</li> </ul>	家庭	
<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りを整える。</li> </ul>		道徳		
<ul style="list-style-type: none"> <li>気温によって、水が温かくなったり冷たくなることを肌で感じる。</li> <li>季節、気候の移り変わりを感じる。</li> <li>地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさや湿り気に違いがあることに気づく。</li> </ul>		理科		
エ. 散策	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然の観察をする。</li> <li>昆虫や植物に親しむ。</li> <li>季節によって、植物の変化（若葉、紅葉、落葉、発芽、開花、結実など）があることに気づく。</li> <li>季節ごとの動物の活動（冬眠など）があることを知る。</li> <li>天気の変化に気づく。</li> <li>雲の動きに興味を持つ。</li> </ul>	理科		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然との関わりに関心を持つ。</li> </ul>	生活		

④ 戸外での一斉保育において		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年中・年長児は実のなる木の収穫をする体験をし、みんなで分け合って食べる。</li> </ul>	家庭	
	オ. 野菜の栽培	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の育ち方には一定の順序があり、根、茎、葉からできていることを知る。</li> <li>・植物を育て、植物の発芽、成長、結実の様子を見る。</li> <li>・植物の成長には水、日光、土が必要であることを知る。</li> </ul>	理科	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・水やりや草ひき等世話をすることで生命をもっていることや成長していることに気づき、植物に親しみを持ち、大切にする。</li> </ul>	生活	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちで育てたものを収穫する体験をし、みんなで分け合って食べる。</li> <li>・分け合って食べる喜びを感じる。</li> </ul>	家庭	
		カ. チューリップの球根植え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で植えたチューリップが、春に花が咲くのを楽しみに待つ。</li> <li>・植物が育つ様子（芽や葉、つぼみがついて花が咲く姿）を間近で見る。</li> <li>・植物に興味や関心を持つ。</li> <li>・年長児は球根の掘り出しや雑草抜きを経験し、球根の変化を知る。</li> </ul>	理科
	キ. 小鳥・かもうさぎ当番		<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜を手で細かくちぎることから始め、時期を見て小型包丁を使って細かく切ることを経験する。</li> </ul>	家庭
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・小動物の様子を間近に見て親しみを持つ。</li> </ul>	理科
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物への扱いや命の大切さを感じる。</li> </ul>	生活
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなのために仕事をする喜びを味わう。</li> </ul>	道徳	
	⑤ 行事の取り組み	ア. 式入園式・集会（進級式、卒業式、卒園式）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・望ましい集団活動を通して、集団の一員としての態度を身につける。</li> <li>・園生活に区切りを付け、清新な気分を味わい、新しい生活に希望や期待を持つ。</li> </ul>	特別活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の話聞く。</li> <li>・教員の話聞いて理解する。</li> <li>・人形劇を楽しむ。</li> </ul>			国語	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の歌を学年または全園児で声を揃えて歌う。</li> <li>・他の学年の歌声を聞く。</li> </ul>			音楽	
イ. 端午の節句		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの健やかな成長を願い祝う日本の伝統的な行事や風習（こいのぼり、かぶと、菖蒲湯）について知る。</li> <li>・保育室に飾るハナショウブを見る。</li> </ul>	社会	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・金太郎の素話を聞き、想像する。</li> </ul>	国語	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の歌『こいのぼり』『金太郎』を歌う。</li> </ul>	音楽	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長児は自信や誇りをもって自分たちの作ったこいのぼりを掲げ、年中児・年少児は年長児に対して憧れの気持ちを持つ。</li> </ul>	道徳	
ウ. 健康診断（内科、歯科、視力検査、聴力検査）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康によい生活について知る。</li> <li>・毎日を健康に過ごすには、食事、運動、睡眠が大切であることを知る。</li> <li>・歯磨きの習慣を身につける。</li> </ul>	体育	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康や安全に気を付け、規則正しい生活が大切だということを知る。</li> </ul>	道徳	
エ. 園外保育		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人々の活動に関心を持ち、適切に接し、親しみを持つ。</li> </ul>	生活	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昆虫や植物に親しむ。</li> <li>・昆虫を見つけて、興味を持って観察する。</li> <li>・植物に触れ、植物で遊ぶ。</li> <li>・植物の成長は、春、秋など季節によって違いがあることに気づく。</li> </ul>	理科		

⑤ 行事の 取り組 み	エ. 園外 保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの住んでいる身近な地域について、主な公共施設などの場所や働き、交通の様子等を体験的に知る。</li> </ul>	社会
		<ul style="list-style-type: none"> <li>園外で自然と親しみ、集団での活動や交通ルール・公共のマナーを身につける体験を行う。</li> </ul>	特別活動
	オ. 避難 訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練等を通じて、災害時等の行動の仕方を理解する。</li> <li>災害時に教員の指示を注意して聞き、教員と一緒に行動する。</li> <li>火災等危険な状態を発見したときには教員や保護者等近くの人に速やかに伝える。</li> <li>具体的な場面を想像し、災害に応じた行動について思ったことを話す。</li> </ul>	特別活動
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の中で、安全に気を付けて行動する。</li> <li>健康や安全に気を付けて生活し、生命を大切にする。</li> </ul>	道徳
	カ. 交流 学生 との	<ul style="list-style-type: none"> <li>異なる文化を持つ人々との交流を体験する。</li> <li>外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験する。</li> <li>積極的に外国語を聞いたり、話したりする。</li> <li>外国語の音声やリズムを聞き、日本語との違いを知り、言葉の面白さに気付く。</li> <li>日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知る。</li> </ul>	外国語 活 動
	キ. つど い	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術に関する様々な園の取り組みに興味や関心を持ち、みんなで楽しく過ごす。</li> </ul>	特別活動
	ク. 七夕	<ul style="list-style-type: none"> <li>七夕の由来を知る。</li> <li>七夕飾りや短冊を作り、伝統行事を楽しむ。</li> </ul>	社会
		<ul style="list-style-type: none"> <li>星に興味を持って、見る。</li> </ul>	理科
		<ul style="list-style-type: none"> <li>七夕の絵本、素話、人形劇を楽しむ。</li> </ul>	国語
		<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の歌『たなばたさま』を歌う。</li> </ul>	音楽
		<ul style="list-style-type: none"> <li>年長児はクラスで力を合わせて竹を運ぶ。</li> <li>年中児、年少児は年長児に対して憧れと感謝の気持ちを持つ。</li> </ul>	道徳
	ケ. お月 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>十五夜に月を眺め、米や野菜等の農作物が収穫できたことを感謝し、ススキや団子をお供えしてお月見を行ってきた日本の昔の風習を知る。</li> <li>保育室に飾るススキを見る。</li> <li>年少児、年中児は粘土でお月見団子をつくり、お供えする。</li> </ul>	社会
<ul style="list-style-type: none"> <li>月に興味を持って、見る。</li> <li>月の満ち欠けに気づく。</li> <li>月の位置が変わることに気づく。</li> </ul>		理科	
<ul style="list-style-type: none"> <li>年少児、年中児は粘土を丸めてお月見団子作りを楽しむ。</li> </ul>		図工	
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の歌『つき』『うさぎ』を歌う。</li> </ul>		音楽	
<ul style="list-style-type: none"> <li>年長児はお月見団子を作り、調理に関心を持つ。</li> <li>年長児はお月見団子を作り、年少児、年中児を招待し、自分が作ったものを食べてもらう喜びを感じる。</li> </ul>		家庭	
<ul style="list-style-type: none"> <li>年長児は自分より幼い年中児、年少児に温かい心で接し、親切にする。</li> <li>年中児、年少児は年長児に対して敬愛の気持ちを持つ。</li> </ul>		道徳	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>さつまいもの苗を植え、水をやり、世話をする。</li> <li>さつまいもの苗が根付く様子や葉が大きくなり茂っていく様子を観察する。</li> <li>素手で土を掘り、お芋を掘り出す。</li> </ul>	理科

⑤ 行事の 取り組 み	コ. 芋ほり	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物を育て、それらの育つ場所や成長の様子に興味を持ち、生命を大切にする。</li> <li>収穫の喜びを味わう。</li> </ul>	生活
		<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちと力を合わせて芋を掘る。</li> </ul>	道徳
	サ. 焼き芋	<ul style="list-style-type: none"> <li>芋をたわしで洗い、アルミホイルで包む下準備をする。</li> <li>出来上がった芋の温かさや色、湯気の様子を感じながらみんなで分け合って食べる。</li> </ul>	家庭
		<ul style="list-style-type: none"> <li>季節を感じながら、焚き火の炎を見、煙の匂いをかく。</li> </ul>	理科
		<ul style="list-style-type: none"> <li>芋を育てた年長児、作ってくれた人に感謝する。</li> </ul>	道徳
	シ. 冬のつどい	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬至を知り太陽への感謝の気持ちを持つ。</li> <li>園庭で収穫したぎんなんや、南京・ゆず茶を飲食することを通して、冬至に「ん」がつく食べ物を食べると縁起が良いことを知り、栄養をつけて寒い冬を乗りきるための昔の人の知恵や風習に触れる。また、ゆずには体を温める作用があることを知る。</li> </ul>	社会
		<ul style="list-style-type: none"> <li>冬の寒さや太陽の温かさを体感する。</li> </ul>	理科
		<ul style="list-style-type: none"> <li>影絵「あまのいわと」を楽しむ。</li> </ul>	国語
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ぎんなん洗いをしてくれた保護者に感謝の気持ちを持つ。</li> </ul>	道徳
	ス. お正月	<ul style="list-style-type: none"> <li>五穀、子孫に幸せをもたらす年神様に感謝の気持ちをこめて、年末に大掃除をし、新年を迎え、お正月に鏡餅を飾り年神様を歓迎する日本の風習を知る。鏡餅、鏡開きの意味や由来を知り、一年の幸せを願う。</li> <li>こま、福笑い、くるくるだこなどお正月の遊びを楽しむ。</li> </ul>	社会
		<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の歌『おしょうがつ』『たこ』を歌う。</li> </ul>	音楽
	セ. 節分	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの健やかな成長を願い、邪気や災厄を祓うために行う日本の伝統行事を知る。</li> <li>豆まきをし、健康を願って歳の数より一つ多い豆を食べる。</li> </ul>	社会
		<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の歌『豆まき』を歌う。</li> </ul>	音楽
	ソ. ひなまつり	<ul style="list-style-type: none"> <li>雛人形のはじまりである「人型」や「流し雛」等の話を聞き、子どもの健やかな成長を願う昔からの伝統行事について知る。</li> <li>雛人形の段飾りを見ながら、昔の日本の生活を想像する。</li> </ul>	社会
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の歌『うれしいひなまつり』を歌う。</li> </ul>		音楽	
タ. お別れ会	<ul style="list-style-type: none"> <li>年少児、年中児は年長児に対して、これまでのことを振り返りお礼の気持ちやお祝いの気持ちを持つ。</li> <li>年長児は、年長児ならではの取り組みである遊びや歌等を自信をもって披露する。</li> <li>年少児、年中児は年長児に対して、憧れの気持ち、自分もやってみたいという意欲を持つ。</li> </ul>	道徳	
⑥ 園生活全般	ア. 通園	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共マナー、交通ルールを守り、安全な登降園をする。</li> <li>通園路の様子やその安全を守っている教員や補助員、警備員などに関心を持ち、安全な登降園をする。</li> </ul>	生活
		<ul style="list-style-type: none"> <li>年下の子に優しい心で接し、親切にする。</li> </ul>	道徳
	イ. 片づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊具の数を数える。</li> <li>三角を組み合わせて四角を作るなど、箱や場所に収まるように入れる。</li> <li>布を半分、半分にたたむ。</li> </ul>	算数

⑥ 園生活全般	イ. 片づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 整理・整頓をする。</li> <li>• 同じ形の遊具を一緒に片づける等、種類に分けて分類する。</li> <li>• 布をたたむ。</li> </ul>	家庭
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• ものを大切に扱う。</li> <li>• 自分のことだけでなく、周りのことにも目を向け、惜しみなく働く喜びを感じる。</li> </ul>	道徳
	ウ. 給食、弁当	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 食事のマナーを守る。</li> <li>• 食べ物に興味・関心を持つ。</li> <li>• みんなで楽しくおいしく食事をする。</li> </ul>	家庭
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 作ってくれた人、届けてくれた人、配膳してくれた人に感謝する。</li> </ul>	道徳
	エ. 身支度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 身の回りを整える。</li> <li>• 自分がやらなければならないことは、しっかりと行う。</li> </ul>	道徳
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分で身の回りのことができる自信を持ち（身辺自立）、自分で行動する力、生きる力を身につける。</li> </ul>	生活
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 衣服を畳んで大切に使う。</li> <li>• 濡れたり汚れたりしたら、着替える。</li> <li>• 親が日常着の手入れとして、ボタン付けや洗濯をしていることを知る。</li> <li>• 季節の変化に合わせて衣替えをする。</li> <li>• 温度によって、衣服の調節をする。</li> </ul>	家庭
	オ. 園生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>• よいことと悪いことがわかり、よいと思うことを進んで行う。</li> <li>• うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと表現し生活する。</li> </ul>	道徳
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• クラスの中で、仲良く助け合い、楽しく過ごすとともに、日常の生活や様々な園の取り組みに興味・関心を持ち、意欲的に取り組む。</li> </ul>	特別活動
	カ. 物保育環境設定 を室で定 育てる生	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ヒヤシンスの水栽培に興味を持ち、植物の発芽、生長、開花の様子を見る。</li> <li>• 身近な生物を育てたりして、成長の過程や体のつくりに興味を持って観察する。</li> <li>• 生物とその生物が好む環境を知る。</li> </ul>	理科
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 生命をもっていることや成長していることに気付き、生物に親しみを持ち、大切に育てる。</li> </ul>	生活



## 12. 保育終了後の保育について

---

### ① 希望（のぞみ）クラス

親の都合に合わせて子どもを預かるという「預かり保育」や「延長保育」とは異なり、少しでも長い時間幼稚園で過ごすことが子どものためになる、異年齢の子どもとの交流をさせたい等を理由とする保護者の希望に応えたものである。子どもの生活リズムの大切さを最優先に考え、年間を通して同じ構成メンバーによる保育を積み重ねる特色あるクラスとして設定している。年長児10名・年中児6名・年少児4名計20名を1クラスとし、「火・金クラス」「月・木クラス」の2クラスを設け、年長児は4月から、年中児は5月から、年少児は9月から始めている。保育時間を1学期は16時30分まで、2・3学期は17時までとし、2名の教員が担当している。

### ② 預かり保育「なないろ」

近年、核家族化で一時的に子どもを預けることができる環境の減少や共働きの家庭が増えている環境の中で仕事をもつ保護者等のニーズに応えたいと考えた。実施日は、月・火・木・金の週4回、午後保育終了後から16時又は17時までである。但し、年少児については園生活に慣れ始めた5月から利用して頂くようにしている。

※なお、2016年度より水曜日と長期休業中の実施を検討している。

## 13. 子育て支援について

---

### ① 教育相談

在園児の保護者を対象に、関西大学臨床心理専門職大学院教授と関西大学心理相談室カウンセラーによる専門的な教育相談を毎月2回設けている。その他、在園児以外の保護者にも園長による子育て相談は随時行っている。保護者の心の安定を図り、子どもとの関係をより良い方向に導くものになれるよう努めている。

### ② 2歳児親子教室

入園前の親子を対象に、素朴な親子遊びを通して子どもと向き合う楽しさを感じてもらうための取り組みである。保護者の様々な考え方や子育て観がある中、本園の教育方針に触れ、子どもの成長、発達の道筋に即した2歳児本来の姿を知ってもらう機会となるよう努めている。年間19回実施しており、1クラス15組の親子を最大3クラス受け入れている。

### ③ 関大幼稚園で遊びませんか

3年保育への入園を検討している保護者を対象に、在園児と共に園庭で遊ぶことで幼稚園の雰囲気を感じ、また、本園の保育や子ども観に興味を持ってもらうことを目的としている。年間8回開催しており、園長と気軽に子育てについて話せる場でもある。

## 14. 園の概要について

---

本園は、昭和26年4月25日に創立開園し、平成23年4月に創立60周年を迎えた。自然環境に恵まれ、園舎前面に運動場があり、園庭には楠、桜、いちょう、せんだん、くぬぎ、かえで、つつじ、つばき、きんもくせいのほか、裏山には松、かし等の樹木に囲まれている。また、ざくろ、みかん、柿、ジューンベリー、ブルーベリー、木イチゴ等の実のなる木や草花の存在は、子どもたちに四季折々の自然を身近に感じさせる楽しみとなっており、情操教育の一助となっている。

#### 施設の概要

- (1) 面積 6,674㎡
  - 園舎敷地 1,541㎡
  - 運動場 1,043㎡
  - その他 4,090㎡
- (2) 保育室 8室（空調設備・床暖房完備）
  - ホール（プレイルーム）
  - 絵本の部屋
  - 人形劇の部屋
  - 保健室
  - 調理室
  - 会議室
  - 応接室
  - プール（5m×10m 水深60cm）

#### 保育時間

- 午後保育日（週4回） 午前8時45分～14時
- 午前保育日（週1回～2回） 午前8時45分～11時30分

（第2・4土曜日は休園）

## 1. 教育理念

すべての子どもには各々の人間性や能力がすでに備わっている。  
それらを尊重し、全面的に開花させ、自分で考え行動できる子どもに育てる。

## 2. 教育方針

- 自主性の陶冶「いきいきと自己表現ができ、積極的に経験を発展させることのできる子どもにすること」
- 協同性の涵養「みんなで協同して仕事をしたり、遊んだりすることのできる子どもにすること」
- 生きる力の育成「困難に出会った時、前向きに解決していきける豊かな感性と生活の知恵を持つ子どもにすること」

## 3. 行動指針

- ① 日常の保育を通して一人ひとりの子どもの個性や発達状況をよく知る。
- ② 子どもの気持ちをよく聴く。
- ③ 子どもが理解できる言葉で周りの様子を伝え、気づかせる。
- ④ 子どもの成長、発達を促し、方向づける。
- ⑤ 一人ひとりの違いを分かった上で、子どもがクラス集団の中で自分らしさを発揮し、互いに育ち合えるように関わる。
- ⑥ クラス集団の成熟度や自主性に合わせて関わり方を変える。

## 4. 学年別目標（理想の子ども像）

**年少児**：園生活における基本的な生活習慣を身につける。  
園生活を楽しみのびのびと自己表現ができる。

**年中児**：友だちと関わる中で、気持ちを伝え合い、主体的に遊ぶ。  
クラスの一員として仲間意識が育つ。

**年長児**：自信をもって主体的に園生活を送り、自分で考えて行動する。

## 5. 学期別目標

1 学期	2 学期	3 学期
集団生活を知り、教員や友だちと一緒に過ごす楽しさや喜びを味わう。	様々な活動を通し、友だちとの関わりを楽しむ。	友だちと関わる中で、教員や友だちに気持ちを伝える。

4 学期	5 学期	6 学期
新しいクラスに慣れ、積極的に友だちと関わって遊ぶ。	クラスの友だちと協力して取り組む活動を通し、仲間意識を育てる。	自分らしさを発揮し、友だちと協調して遊びや活動に取り組む。

7 学期	8 学期	9 学期
遊びや年長児としての活動に意欲的に取り組み、責任を持ってやり遂げる。	共通の遊びや活動を協力してやり遂げることで達成感を味わい、仲間意識を深める。	主体的に園生活を送り、自分で考えて行動する。

## 6. 各学年における月別目標

年 少		年 中		年 長	
4 月	教員や友だちと一緒に過ごすことが楽しいと感じさせる。	9 月	遊びを通して友だちと関わりが持てるようにする。	1 月	基本的な生活習慣が自分でできるようにする。
5 月	集団生活を知らせる。	10 月	戸外で友だちと体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるようにする。	2 月	気の合う友だちと一緒に遊びを楽しめるようにする。
6 月	集団生活には決まりがあることを知らせる。	11 月	友だちと遊ぶ楽しさを味わえるようにする。	3 月	進級を楽しみにできるようにする。
7 月	暑い時期の過ごし方を知らせ、水に親しめるようにする。	12 月	自分の気持ちを教員や友だちに伝えられるようにする。		

年 中		年 長	
4 月	新しいクラスに慣れ、担任や友だちに親しみを持てるようにする。	9 月	遊びを通して友だちとの関わりを深める。
5 月	自分のやりたい遊びを見つけ、気の合う友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにする。	10 月	運動遊びや集団遊びを楽しむ、仲間意識を育てられるようにする。
6 月	自分のしたいこと、伝えたいことを言葉で伝えられるようにする。	11 月	友だちの気持ちに気づけるようにする。
7 月	水に親しみ、夏の季節を楽しめるようにする。	12 月	友だちと共通のイメージを持ち、協力して遊びを楽しめるようにする。

年 長	
4 月	様々な活動を通して年長児になった実感が持てるようにする。
9 月	自分の力で最後まで取り組み、達成感と満足感を感じさせる。
1 月	ルールを守り、集団遊びを主体的に楽しめるようにする。
5 月	クラスで気持ちを共有して一つのことに取り組み、達成感を味わわせる。
10 月	戸外で運動遊びや集団遊びを楽しみ、仲間意識を深める。
2 月	様々な活動に積極的に取り組み、やり遂げる達成感を味わわせる。
6 月	クラスで自分の思いや経験を言葉で伝えられるようにする。
11 月	様々な活動を協力してやり遂げ、充実感を味わわせる。
3 月	自信を持って主体的に園生活を楽しみ、小学校への夢が膨らむようにする。
7 月	のびのびと水遊びを楽しむ、夏の季節を楽しむようにする。
12 月	友だちと話し合い、協力して遊びを楽しめるようにする。

## 7. 教育内容別目的

<b>① 安全教育について</b> 目的：危険を予測し、回避できる力を育てる。 重要なポイント ・自分自身の身を守るための具体的な方法を伝える。 ・訓練を繰り返し行うことで、災害時や緊急時における行動の仕方をわかるようにする。 ・訓練は毎回同じことの繰り返しではなく、内容の半分は新たなことを取り入れ、様々な事象に対応できるようにする。
---

<b>④ 誕生日のお祝いについて</b> 目的：家族の愛情に包まれ祝福されて生まれてきたことを実感し、ひとつ大きくなったことを喜ぶ気持ちを持てるようにする。 重要なポイント ・一人ひとりの生まれた日を大切に考え、お祝いする。 ・保護者のお話から、自分は望まれ生まれてきた大切な存在であり、家族に守られ大切に育ててもらっていることに気づかせる。 ・友だちを祝う気持ちを持てるようにする。
---

<b>⑦ リズム運動・体育的な遊び・集団遊び・わらべ歌遊びについて</b> 目的：発達段階に応じた運動や遊びを意欲的に取り組むことで、普段の生活の中で不足している運動量を保障し、バランスのよい身体を作れるようにする。 一人で動くことと集団で動くことの違いを感じ楽しめるようにする。 重要なポイント ・ピアノに合わせて心地よく体を動かし、主体的に活動させる。 ・動きのポイントを押さえた指導をする。 ・安全な遊具の使い方を知らせ、ルールを守って遊ばせる。 ・歌いながら動きや言葉の響きを味わい、友だちと楽しさを共有させる。
---

<b>⑩ 絵本・読み聞かせ・貸し出しについて</b> 目的：絵本の世界に浸り、豊かな想像力を育む。 重要なポイント （絵本・読み聞かせ） ・年少児では身近に感じられる生活感あふれるものや繰り返しの面白さが感じられるもの、年中児では物語性のある絵本や昔話等想像力に働きかけられるもの、年長児ではドラマチックな話の展開や言葉の面白さ、登場人物への共感等感受性を育むもの等、様々な絵本を与える。 （貸し出し） ・年中・年長児は自分で借りたい絵本を選び、持ち帰った絵本を保護者に読み聞かせをしてもらうことで、子どもと絵本の世界を楽しむ時間を持てるようにする。
---

<b>② 食育について</b> 目的：教員や友だちと和やかな雰囲気の中で食べることの楽しさを味わい、食べ物に興味や関心を持つ。 重要なポイント ・旬の食べ物を知らせたり、野菜をたくさん食べられるよう献立を工夫する。 ・作物を育てる人、食事を作る人の存在や思いを知ることで、感謝の気持ちを育てる。 ・園庭の実のなる木等自然の恵みを分け合って頂き、楽しさや喜びを共有させる。
--

<b>⑤ 四季の行事について</b> 目的：四季を感じ、日本の風習に興味や関心を持つ。 重要なポイント ・行事を特別な取り組みにせず、普段の園生活の中に行事の意義を結びつける。 ・行事を通して季節の移り変わりを感じ、四季を感じる園生活を送るようにする。
--

<b>⑧ 制作活動について</b> 目的：発想を豊かにし、自分らしさを表現できるようにする。 重要なポイント ・自分の経験やイメージしたことを自由に表現する楽しさや、自分の手で作る喜びを味わえるようにする。 ・様々な素材や道具の特性を知り、扱いに慣れるようにする。 ・一斉に制作させる取り組みにおいては、発達段階に見合った内容にする。 ・誕生日プレゼント作りでは、年中児は発達段階を踏まえた意図的な内容に取り組む経験を重ね、年長児は年中児での経験を活かして自分でプレゼントしたいものを考え作れるような取り組みにする。
--

<b>⑪ 園生活における片づけ・整理整頓・掃除・手伝いについて</b> 目的：生活において一人ひとりの子どもが自分のことは自分でできるようにすることで、クラスみんなで心地よく過ごせ、みんなのために自分が行動する喜びを味わえるようにする。 重要なポイント： （片づけ） ・習慣として身に付け、自発的に片づけができるように指導する。 （整理整頓） ・持ち物・鞆内・棚の整理整頓の仕方を教え、毎日繰り返し積み重ね、しっかりとその子の身に付くように働きかける。 （掃除） ・雑巾の洗い方・絞り方・干し方・洗濯ばさみの扱い方や拭き掃除の仕方等、発達に応じたねらいを設定し指導する。 （手伝い） ・仕事内容を理解させ、役割を自覚して取り組めるようにする。
---

<b>③ 自然環境について</b> 目的：園内の収穫物を頂く体験から自然の恵みや成り立ちに興味を持つ。季節の変化を感じ、生活の仕方を自分なりに気づいて変えられるようにする。 重要なポイント ・日々の園内散歩を通し、身近な生き物や草花、樹木を観察することで、発見する楽しさを味わえるようにする。 ・雨・風や虫や鳥などの自然の音に耳を傾け関心を持たせる。 ・身近な動植物に親しみ、命の尊さを知らせる。
---

<b>⑥ 人形劇・楽しいつどい・留学生との交流について</b> <b>人形劇について</b> 目的：お話の世界に浸り、楽しむことで想像力を育てる。 重要なポイント ・子どものお話の中にお話が浸透し、より楽しめるようになるために同じお話を繰り返し行う。 ・子どもが自分の世界で自由なイメージを膨らませることができるよう、場面設定や人形の動き、語り口調等に配慮する。 <b>楽しいつどいについて</b> 目的：様々な芸術に触れ、子どもの感性に働きかける。 重要なポイント ・子どもが心動かす体験となるよう、実際に間近で聴き、見させる。 ・子どもが楽器や歌を身近に感じ、興味を持てるように耳馴染みのある曲を選ぶ。 ・楽しいつどいの後には子どもが感じたことや思ったことを表現できる時間を持つ。 <b>留学生との交流について</b> 目的：様々な国の留学生と一緒に遊ぶことで親しみの気持ちを持ち、異国へ興味関心を持たせる。 重要なポイント ・留学生と一緒に楽しく過ごす中でその人柄や優しさに触れ、自分から関わりを求めようとする。 ・留学生の外国語を身近に聞くことで、様々な言語や文化の違いに気づかせる。 ・留学生の国名や場所、生活の様子等の話を興味を持って聞けるようにする。
---

<b>⑨ うた・手遊びについて</b> 目的：園生活の中で自然と歌を口ずさみ、楽しい気持ちを共有する。 重要なポイント ・教員が季節や場面に応じた歌を常に口ずさむことで、歌を身近なものにする。 ・日々の園生活の中で繰り返し歌うことで歌に親しみを持たせる。 ・普段の保育の中ではピアノ伴奏に合わせてではなく、教員や友だちの歌声に合わせて心地よく歌えるようにする。
---